## 保証について

●保証期間中の修理については、無料修理規定（保証書に裏書きされています）にしたがって取扱店（工事店）が修理させていただきます。

●取扱店（工事店）に所定事項（「お引渡し日」、「取扱販売店名」）を記入いただき、保証書を大切に保管してください。（記入無き場合は、保証が受けられない場合もありますので、ご了承ください。）

## 修理を依頼されるときは

●サービスを依頼される前に、本書の「故障かなと思ったら」P39〜40にしたがってご確認いただき、なお異常がある場合は取扱店（工事店）にご依頼ください。

●修理に関するご相談並びにご不明な点は、取扱店（工事店）またはパナソニック電工お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

## パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

○ **修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの取扱店（工事店）へお申し付けください。**

フリーダイヤル **0120-081-240**

**365日 24時間修理受付をさせていただきます。**

### ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック電工株式会社およびパナソニック電工グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様からお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。また、お客様に折り返し電話させていただくときのために、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

生産終了品
この商品は生産終了につき製造することができません

パナソニック電工株式会社　配管機材事業部
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048　TEL.（06）6908-1131〈大代表〉


2008.10

**Panasonic**

保管用

自然冷媒（$CO_2$）ヒートポンプ給湯機

# 業務用エコキュート 小容量タイプ
# 取扱説明書

■ **取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。**
■ **この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」（2〜4ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
■ **この取扱説明書は大切に保管してください。**

### も　く　じ



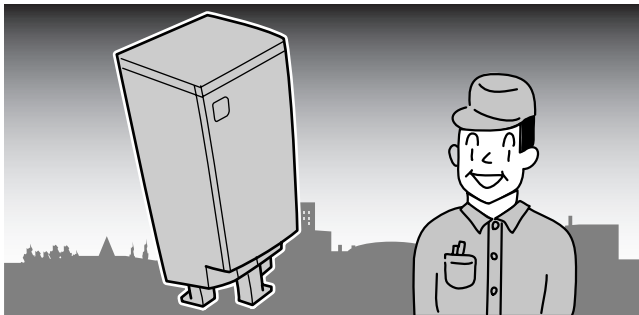
パナソニック電工株式会社

はじめに
リモコンの使い方
準備
ナビ確認モード
運転設定モード
満タンモード
このようなときは

# ご使用前の知識

## $CO_2$ヒートポンプ給湯機とは

●ヒートポンプユニット内に封入された冷媒の働きを利用し、蒸発器で大気の熱を汲み上げ、熱交換器で水を湯に沸上げます。
ヒートポンプユニット内には自然冷媒（$CO_2$）が封入されています。

## 電力契約は

●電力会社と電力契約をお勧めします。
電力契約には、季節別時間契約や業務用電化厨房契約などがあります。
契約方法は電力会社または販売店までご相談ください。

| 組合せ品番 | 組合せ品名 | 構成品番 | 品名 | 数量 |
|---|---|---|---|---|
| XDEC34P1K | 業務用エコキュート 小容量タイプ タンク・ヒートポンプセット（HP1台タイプ） | DECP450K | ヒートポンプユニット　4.5kw | 1 |
| | | DECB370K | 貯湯タンクユニット　370L | 1 |
| | | DECR001 | リモコン | 1 |
| XDEC34P2K | 業務用エコキュート 小容量タイプ タンク・ヒートポンプセット（HP2台タイプ） | DECP450K | ヒートポンプユニット　4.5kw | 2 |
| | | DECB370K | 貯湯タンクユニット　370L | 1 |
| | | DECR001 | リモコン | 1 |
| XDEC34P3K | 業務用エコキュート 小容量タイプ タンク・ヒートポンプセット（HP3台タイプ） | DECP450K | ヒートポンプユニット　4.5kw | 3 |
| | | DECB370K | 貯湯タンクユニット　370L | 1 |
| | | DECR001 | リモコン | 1 |
| XDEC34P4K | 業務用エコキュート 小容量タイプ タンク・ヒートポンプセット（HP4台タイプ） | DECP450K | ヒートポンプユニット　4.5kw | 4 |
| | | DECB370K | 貯湯タンクユニット　370L | 1 |
| | | DECR001 | リモコン | 1 |



# 安全上のご注意 （必ずお守りください）

○ 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

| | |
|---|---|
|  | してはいけない内容です。 |
|  | 実行しなければならない内容です。 |

## 移設時・修理時のご注意

### ⚠警 告

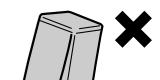
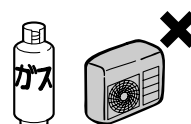
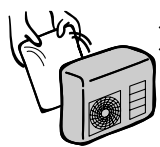
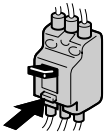
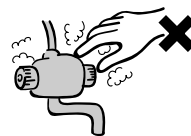
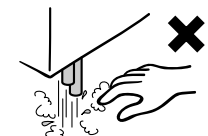
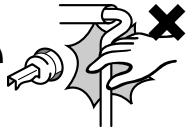
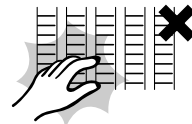
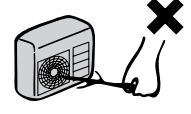
分解禁止

●**自分で修理・改造や再設置は行わない**
火災・感電・水漏れの原因となります。

必ず守る

●**移設時・修理の場合は販売店または工事店に依頼する**
火災・感電・水漏れの原因となります。

### ⚠注 意

必ず守る

●**水道水のみを使用する。（井戸水は使用不可）**
故障や水漏れの原因となります。

安全上のご注意



## 使用時のご注意

### ⚠ 警 告

禁止

●貯湯タンクユニットの前扉は開けない
やけどや感電の原因となります。

●貯湯タンクユニットやヒートポンプユニットの近くに可燃性ガスや引火物を置かない
発火や火災の原因となります。



●取り外す指定個所（逃し弁操作カバー）以外は取り外さない
高温部によるやけどや感電の原因となります。

●ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの上に乗ったり、ゆすったり、配管に力を加えない
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけどなど）に至るおそれがあります。特に幼児に注意してください。

必ず守る

●分電盤内の漏電ブレーカが作動した場合は運転を停止する
感電するおそれがあります。
（取扱店または工事店に点検を依頼してください。）

### ⚠ 注 意

禁止

●高温給湯時は給湯栓本体に手を触れない
やけどをするおそれがあります。

●貯湯タンクユニット下部のヒートポンプユニット循環配管接続口（復側）には手を触れない
●長期不使用などで、貯湯タンクユニットからの排水をする場合、その時の湯に手を触れない
やけどをするおそれがあります。

●逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない
やけどをするおそれがあります。

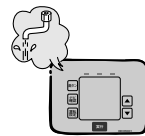
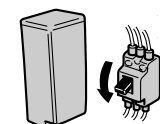
●ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンには触らない
フィンでけがをするおそれがあります。

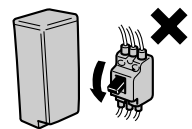
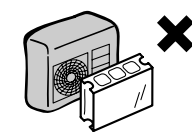
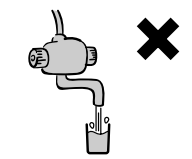
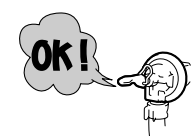
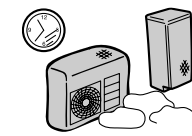
●ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない
内部でファンが回転していますので、けがをするおそれがあります。

必ず守る

●人が湯に直接触れる場合は、高温給湯、混合給湯によらず、サーモ付混合栓を使用する。
やけどをするおそれがあります。

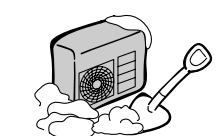
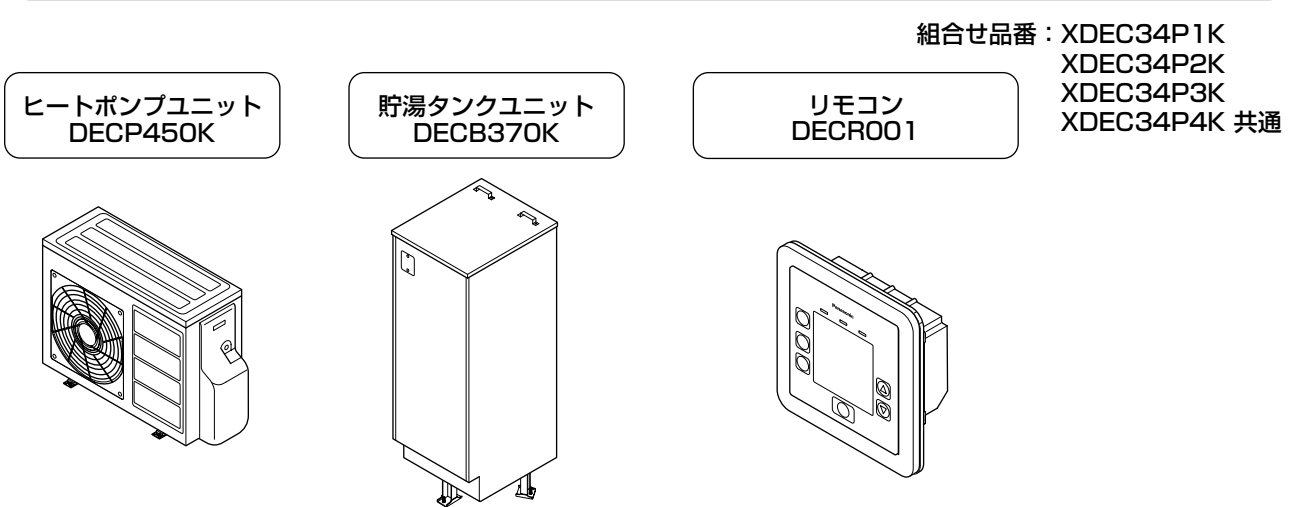
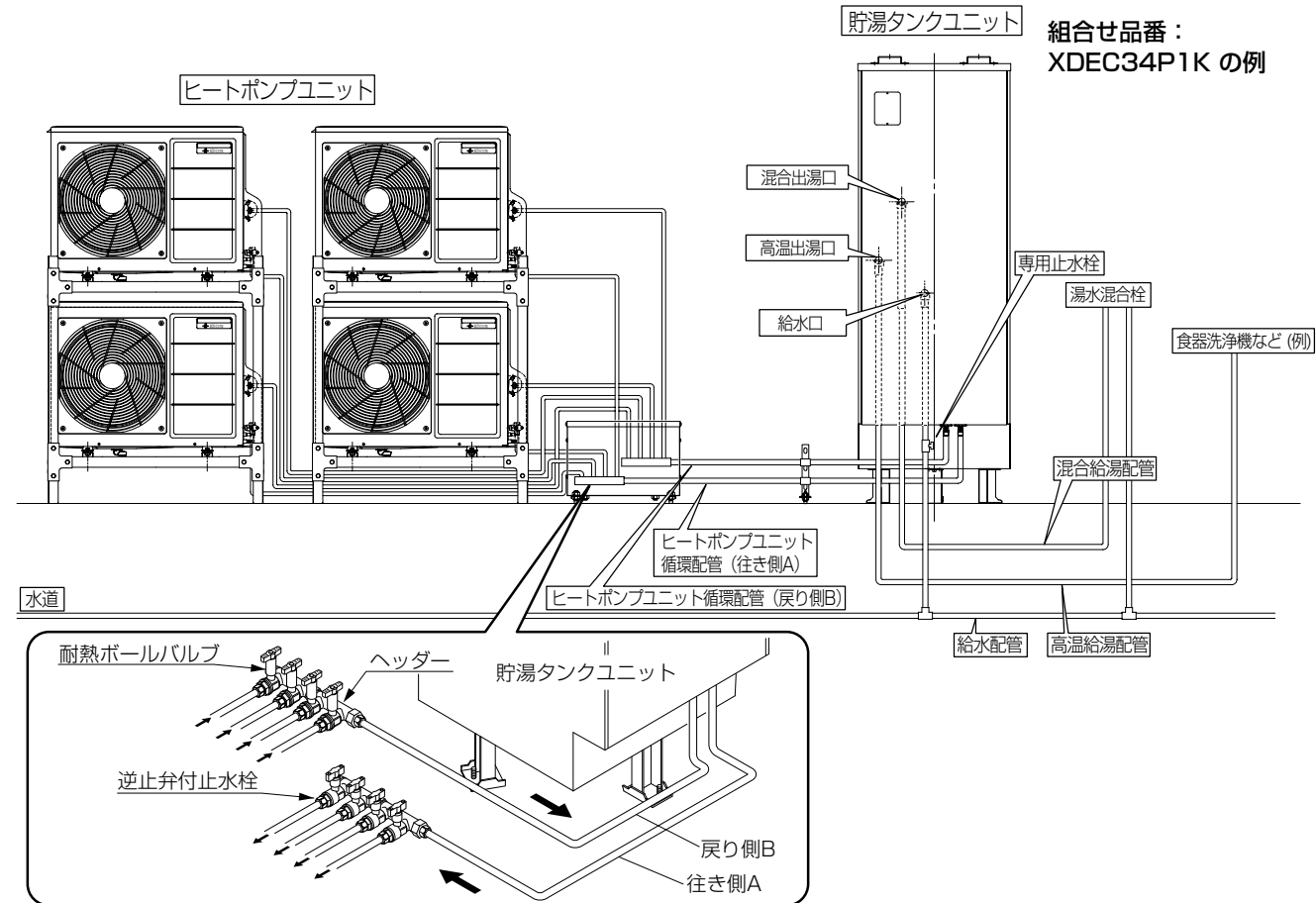
必ず守る

●給湯温度を変更するときは、他の給湯栓の使用状況を確認する
やけどをするおそれがあります。

●1カ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をする
排水をしないと、水質が劣化することがあります。

### お願い

●凍結しそうな気温になった場合は、ブレーカーを「OFF」にしないでください。
自動的にヒートポンプユニット循環配管の凍結を予防します。

●ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かないでください。
通風が妨げられると性能低下や故障の原因となります。

●飲用する場合は必ず沸騰させてください。
長期間の使用によって貯湯タンクユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わっている事があります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度沸騰させてから使用してください。
・必ず水道法に定められた水道水の水質基準に適合した水を使用してください。
・熱い湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水として使用してください。
・固形物や変色、濁り、悪臭があった場合には、飲用に使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

●逃し弁の点検をしてください。
点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりするおそれがあります。

●長期間使用しない場合で凍結するおそれのある場合は、水抜きを確実に行ってください。
配管が破裂し、水漏れの原因となります。

●積雪時には除雪してください。
ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因となります。

## 製品構成

組合せ品番：XDEC34P1K
XDEC34P2K
XDEC34P3K
XDEC34P4K 共通

| ヒートポンプユニット | 貯湯タンクユニット | リモコン |
|---|---|---|
| DECP450K | DECB370K | DECR001 |

## システム全体の配管概要

**お願い**

●湯水混合栓を使用の際は、逆止弁付きを使用してください。逆止弁の付いていない混合栓を使用した場合は、逃し弁より湯が排水される場合があります。



製品構成と各部のなまえ

はじめに

## ヒートポンプユニット

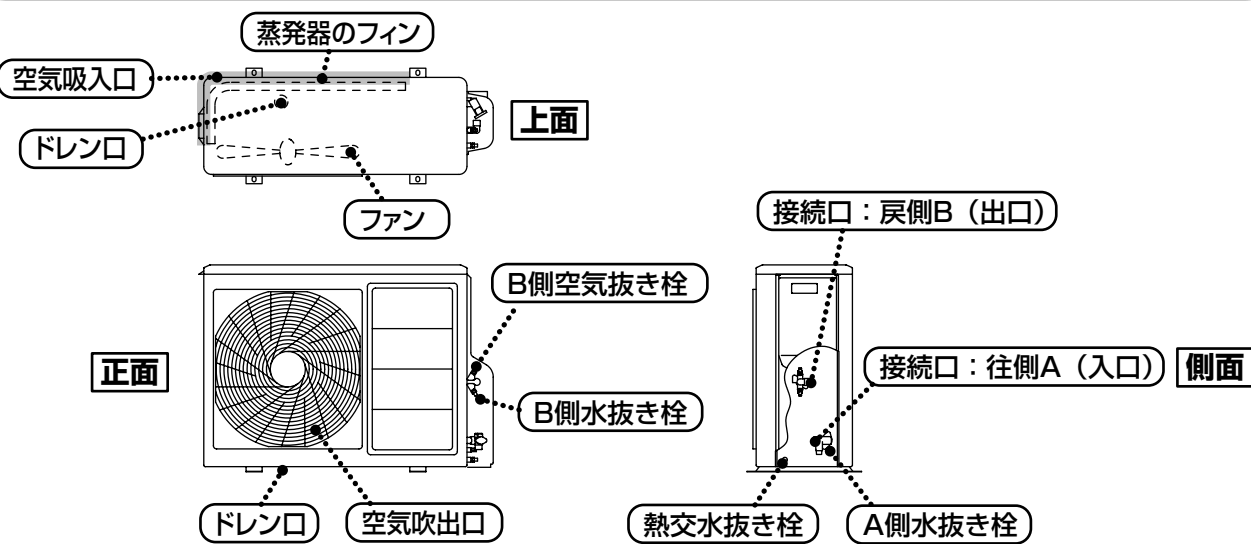
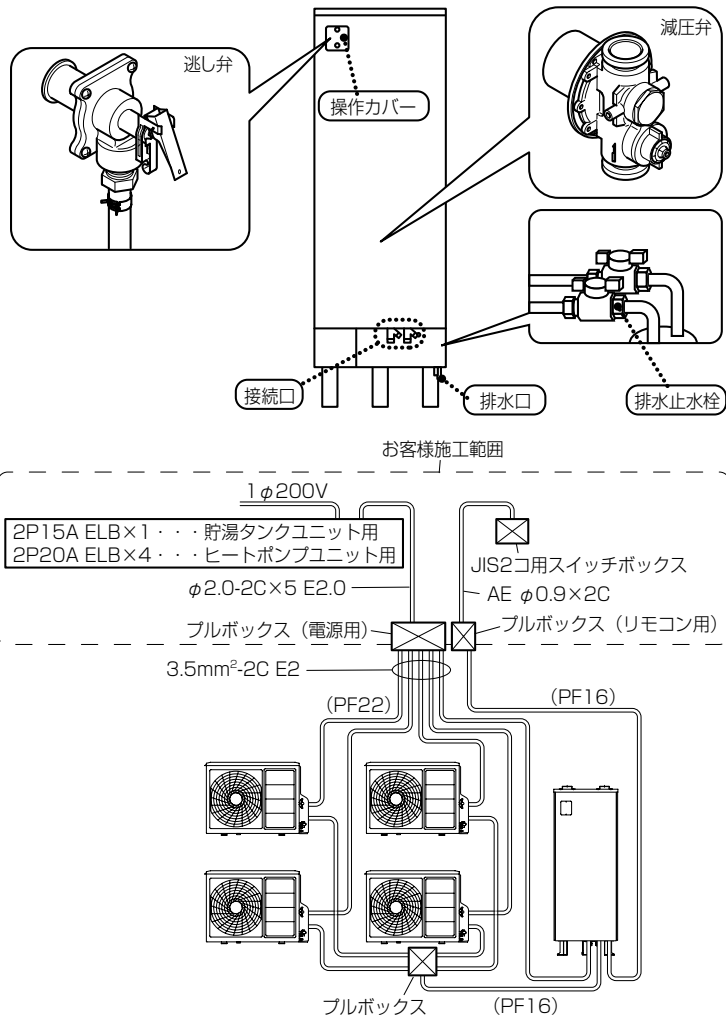
上面：蒸発器のフィン、空気吸入口、ドレン口、ファン

正面：B側空気抜き栓、B側水抜き栓、ドレン口、空気吹出口

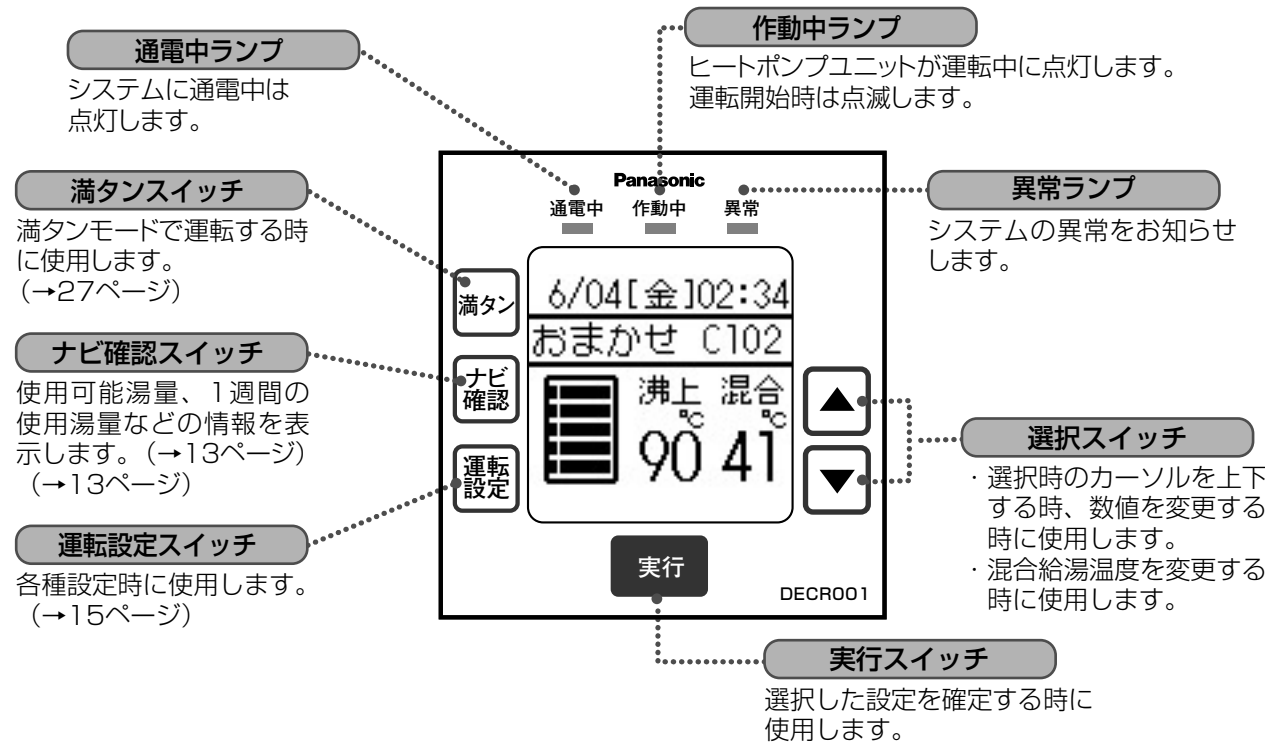
側面：接続口：戻側B（出口）、接続口：往側A（入口）、熱交水抜き栓、A側水抜き栓

## 貯湯タンクユニット

逃し弁
減圧弁
操作カバー
接続口
排水口
排水止水栓

お客様施工範囲
1φ200V
2P15A ELB×1・・・貯湯タンクユニット用
2P20A ELB×4・・・ヒートポンプユニット用
φ2.0-2C×5 E2.0
JIS2コ用スイッチボックス
AE φ0.9×2C
プルボックス（電源用）
プルボックス（リモコン用）
3.5mm²-2C E2
(PF22)
(PF16)
プルボックス
(PF16)

# 製品構成と各部のなまえと働き

## リモコン

○ 表示部は説明のため表示を全点灯状態にしてあります。

## 貯湯量表示について

○ リモコンの貯湯量表示は次のようになっています。
（貯湯量とは約50℃以上の湯の量です。）

| バー表示 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 貯湯量（目安） | 約50L未満 | 約50L以上 | 約100L以上 | 約150L以上 | 約200L以上 | 約250L以上 |

○ 湯切れ警告のため、約50リットル、約20リットルまで減った時、ブザーでお知らせします。
この時は、湯のご利用を減らしてください。

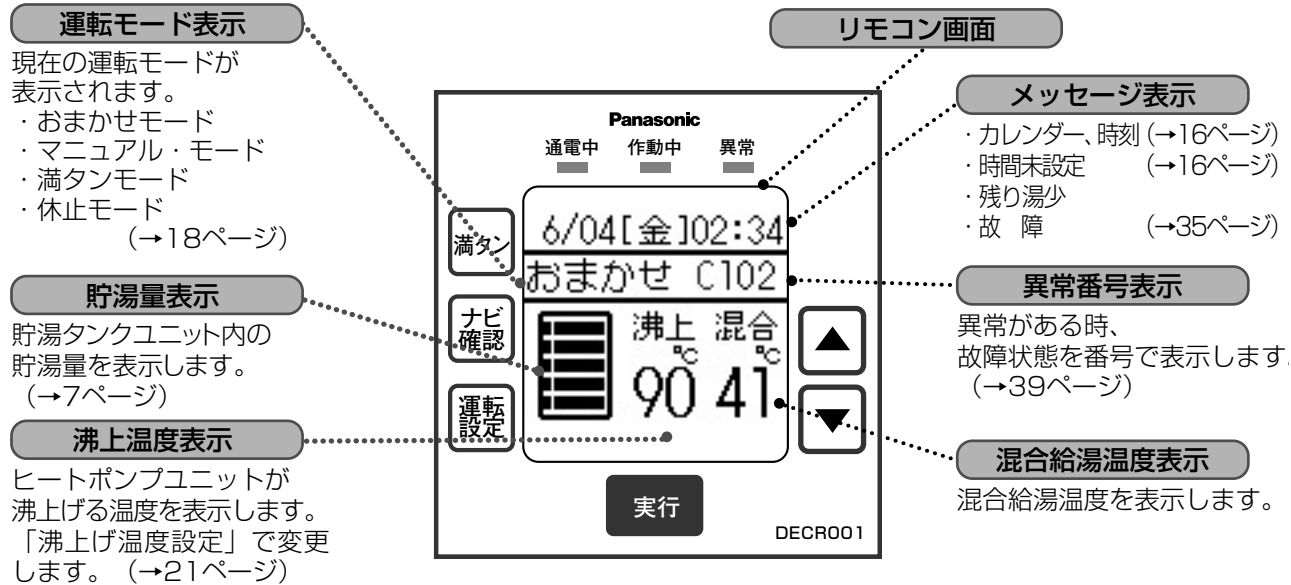
**お願い**

● リモコンに水をかけないでください。
防水タイプではありませんので、故障の原因となります。



# リモコンの使い方

## リモコン

○ リモコンには、各種画面があります。
①通常画面（下図参照）
②各種表示設定の画面（ナビ確認モード、運転設定モードなど）
③消灯

## 混合給湯温度設定

通常画面を表示している時

▲ を押すと、混合給湯温度が上がります。

▼ を押すと、混合給湯温度が下がります。

湯温は35～50℃（1度刻み）、55℃、60℃、75℃の範囲で変更できます。

**ご注意**

混合給湯中に高温給湯を開始、中止したり、ヒートポンプユニットが作動すると、
湯温が変動することがあります。

## ブザー音の種類と止め方

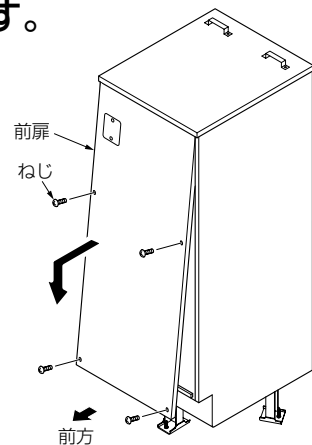
○ ブザーは下表の時に鳴ります。

| 名　称 | 条　件 | 鳴り方 | 止め方 |
|---|---|---|---|
| スイッチ操作 | スイッチを押した時（"操作音設定"が"ON"の時） | 受付け時：ピッ<br>拒否時　：ピピッ | "操作音設定"をOFFにする（→19ページ） |
| 湯切れ警告 | 貯湯量が約20リットル、約50リットルを切った時 | ピピピピピを5回 | ―― |
| アラーム・エラー警告 | アラーム・エラーが出た時 | ピピッを繰り返す | どれかスイッチを押すと鳴りやみます |
| 電源投入 | 電源投入時 | ピー | ―― |

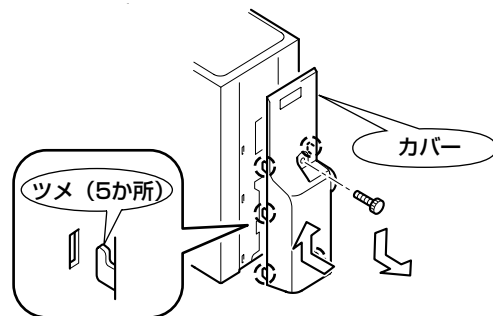
# はじめてご使用になるとき

- 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットに水を入れ、配管中のエア抜きをします。
- 取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

### ①準備をします

①-1. 貯湯タンクユニットの前扉を外します。

①-2. ヒートポンプユニットのカバーを止めているねじを取り外します。

①-3. カバーを下方へスライドさせ、ツメを外し、カバーを取り外します。

●必要以上にスライドさせると、ツメ部が破損するおそれがあるので注意してください。

### ②貯湯タンクユニットに水を入れます

②-1. 逃し弁のレバーを起こし(弁を開放し)、専用止水栓(給水配管)を開きます。

●貯湯タンクユニットに水が入ります。

### ③減圧弁のストレーナーを清掃します

③-1. 10分程度給水したら、一度給水配管の専用止水栓を閉じます。

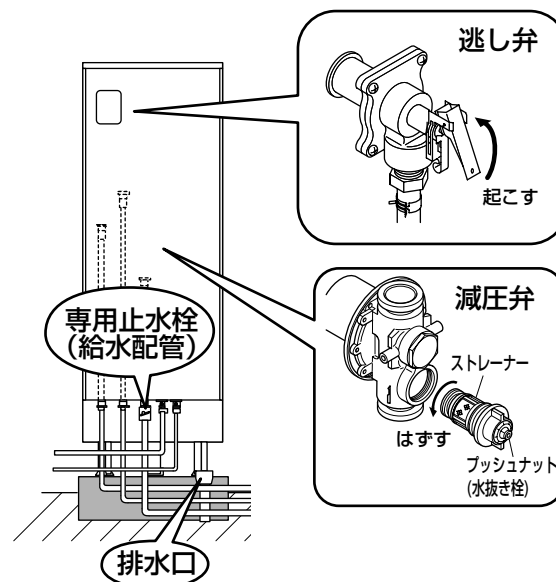
③-2. 減圧弁のストレーナーを外し、ゴミつまりを点検し、その後ストレーナーを元に戻します。

●ゴミがつまっている時はブラシなどを使い水でよく洗い流します。

③-3. 給水配管の専用止水栓を開きます。

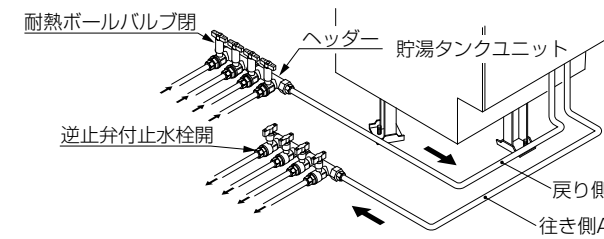
③-4. 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを戻します。

●ドレンホースから水が出てきたら満水です。

●満水までの目安は約20分です（給水圧力等により変動します)。

# はじめてご使用になるとき

### ④ヒートポンプユニットのエア抜きをします

④-1. ヒートポンプユニット循環配管往き側Aヘッダーの逆止弁付止水栓をすべて開けます。

④-2. ヒートポンプユニット循環配管戻り側Bヘッダーの耐熱ボールバルブをすべて閉じます。

④-3. 1台のヒートポンプユニットの戻側Bの水抜き栓を開き、エア抜きをします。

●水抜き栓より出る水をバケツ等で受けてください。

●十分にエアが抜けるまでおこなってください。

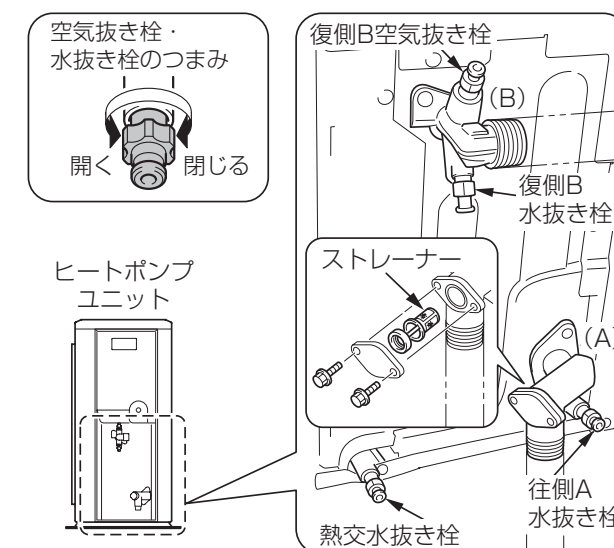
④-4. エア抜きが十分にできたら、ヒートポンプユニットの戻側Bの水抜き栓を閉じます。

④-5. ヒートポンプユニット循環配管往き側Aヘッダーの逆止弁付止水栓をすべて閉じます。

④-6. ヒートポンプユニット循環配管戻り側Bヘッダーの耐熱ボールバルブをすべて開けます。

④-7. 1台のヒートポンプユニットの戻側Bの水抜き栓を開き、エア抜きをします。

●水抜き栓より出る水をバケツ等で受けてください。

●十分にエアが抜けるまでおこなってください。

④-8. エア抜きが十分にできたら、ヒートポンプユニットの戻側Bの水抜き栓を閉じます。

④-9. 残りのヒートポンプユニットについても、1台ずつ ④-3 から ④-8 の作業をおこなってください。

**⚠警告**

●複数台のヒートポンプユニットでは、上段のヒートポンプユニットから吹き出した水が下段のヒートポンプユニットの電源線にかかると危険です。
必ずバケツなどで受けてください。

**ご注意**

●エア抜きはヒートポンプユニット1台ずつおこなってください。



準備

○ 取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

### ⑤ヒートポンプユニットのストレーナーの清掃をします

⑤-*1.* ヒートポンプユニット循環配管のすべての逆止弁付止水栓、耐熱ボールバルブを閉じます。

⑤-*2.* ヒートポンプユニットの往側Aの水抜き栓を開きます。その後水が出なくなれば閉じます。

⑤-*3.* ヒートポンプユニットの往側A接続口のストレーナーを外し、ゴミつまりを点検し、その後ストレーナーを元に戻します。

●ゴミがつまっている時はブラシなどを使い水でよく洗い流します。

⑤-*4.* すべてのヒートポンプユニットについて ⑤-*2* から ⑤-*3* の作業をおこないます。

⑤-*5.* ヒートポンプユニット循環配管のすべての逆止弁付止水栓、耐熱ボールバルブを開きます。

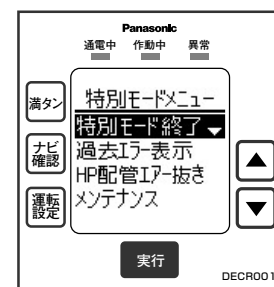
### ⑥リモコンでエア抜き操作をおこないます

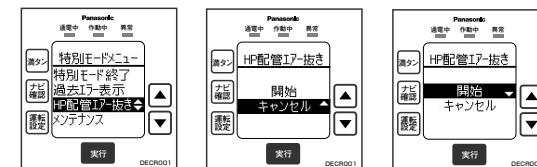
⑥-*1.* 貯湯タンクユニットとすべてのヒートポンプユニットに通じる分電盤内の漏電ブレーカを「入」にします。

●貯湯ECU基板の初期化に約2分半かかります。初期化後は通常表示(休止モード)になります。

⑥-*2.* 実行 を押すとおまかせ(または、マニュアル)モードになります。

⑥-*3.* 実行 を押したまま 運転設定 ▼ を同時に押します。

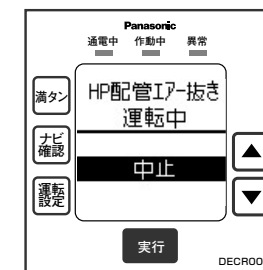
●特別モードメニューが表示されます。

⑥-*4.* ▼ を2回押し、HP配管エア抜きで 実行 を押します。

⑥-*5.* ▲ を押し、実行 を押します。

⑥-*6.* すべてのヒートポンプユニットのポンプだけが稼動します。(ファンは回転しません。)

●ヒートポンプユニットと貯湯タンクユニット間の配管から空気の混ざった水が流れるゴボゴボ音がします。しばらくすると音がしなくなります。



はじめてご使用になるとき

⑥-*7.* 逃し弁のレバーを起こすと排水口から空気の混ざった水が出ます。しばらくすると水だけが出ます。水だけが出るようになれば逃し弁のレバーを戻します。

⑥-*8.* 実行 を押します。

●「特別メニュー」に切り替わります。

⑥-*9.* ▲ を2回押し、実行 を押します。

●通常画面に戻ります。

### ⑦元に戻します

⑦-*1.* 貯湯タンクユニットの前扉を取り付けます。

⑦-*2.* ヒートポンプユニットのカバーを取り付け、ねじを取り付けます。

### ⑧確認する

⑧-*1.* リモコンが通常画面になり、作業中ランプが点滅、点灯しているか？

⑧-*2.* 約30分後（ヒートポンプユニット2台の場合）、タンクの残湯量表示が、下図のように変わったか？

⑧-*3.* 高温給湯、混合給湯水栓から、湯が出るか？

**⚠注 意**

●直接、湯をさわらないでください。
やけどをするおそれがあります。

準備

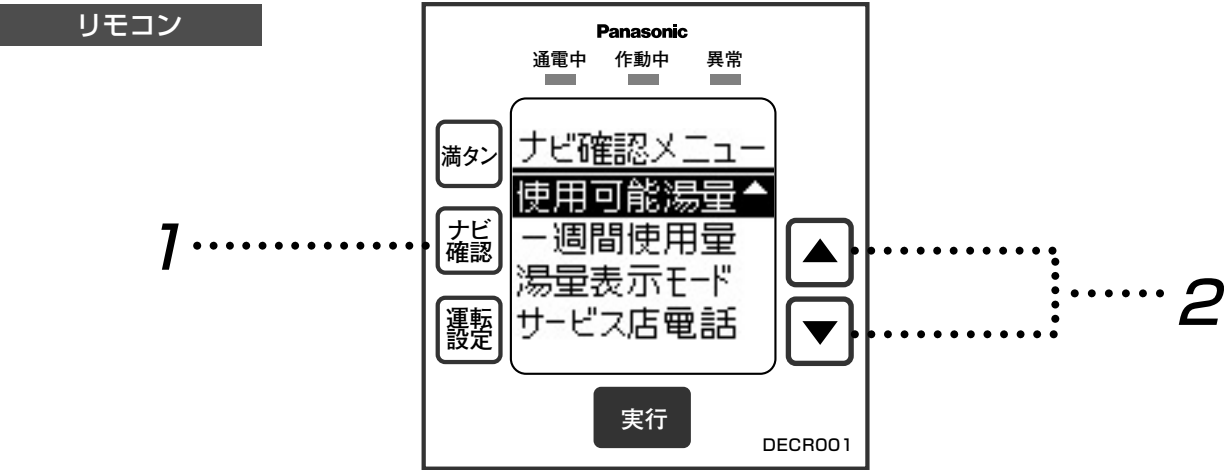
# ナビ確認モード

○ 使用可能湯量、1週間使用可能湯量等の情報を表示します。

○ ナビ確認モードの種類

| No. | 表示 | 内容 | ページ |
|---|---|---|---|
| 1 | 使用可能湯量 | タンク貯湯量を表示します。 | 14 |
| 2 | 1週間の使用湯量 | 前日から過去1週間分の、曜日別使用湯量を表示します。※1 | 14 |
| 3 | 湯量表示 | 最低貯湯量と最少残湯量を表示します。 | 14 |
| 4 | サービス店電話番号 | 故障時の連絡先の電話番号を表示します。（運転設定で電話番号登録が必要です。） | 14 |
| 5 | 貯湯温度 | 貯湯タンク上部の温度を表示します。 | 14 |

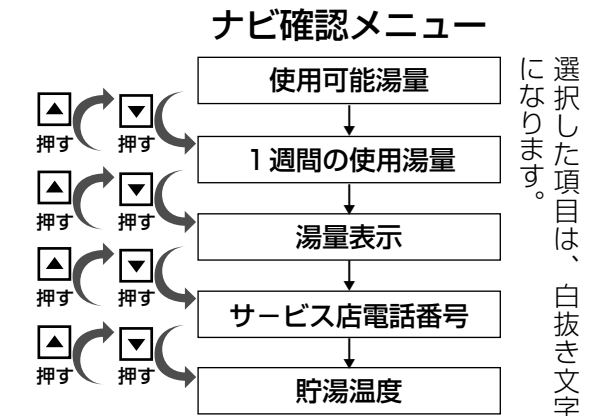
※1　年・月・日が正しく設定されていないと、曜日が正しく表示されません。

リモコン

**1.** ［ナビ確認］を押す。

●ナビ確認メニューを表示します。

**2.** ［▲］［▼］を押し、選択項目を切り替えます。

●選択項目は、次の順番で切り替わります。

選択した項目は、白抜き文字になります。

**3.** ［実行］を押します。

●選択したモードへ移ります。

**ナビ確認モードの終了方法**

●選択したモード中で

［ナビ確認］を押します。または、30秒間放置すると「ナビ確認メニュー」へ戻ります。

●ナビ確認メニュー中で

［ナビ確認］を押します。または、30秒間放置すると「通常表示」へ戻ります。



# ナビ確認モード

①使用可能湯量表示

使用可能湯量
リットル
370

貯湯タンクに貯えられている湯量を表示します。
370リットルは貯湯タンクに湯が満タン入っている状態です。

●使用可能湯量は、30秒間表示します。

↓
ナビ確認メニュー

②1週間の使用湯量表示

曜日別使用湯量表示は、前日から1週間分を表示します。

●1週間の使用湯量は、30秒間表示します。

↓
ナビ確認メニュー

③湯量表示

貯湯タンクの湯量が最低貯湯量より減るとヒートポンプユニットが運転開始します。
（運転設定モードの最低貯湯量で設定できます。）（→26ページ）

最少残湯量は過去1週間で、最も湯が減った時の残湯量を表示します。

貯湯タンク内の残湯量の最少量を表示します。

（ただし、電源を入れて1週間は、0リットルを表示します。）

●湯量表示は、30秒間表示します。

↓
ナビ確認メニュー

④サービス店電話番号表示

**お知らせ**

●サービス店の電話番号が設定されている場合のみ表示します。

サービス店電話
0120-3
45-6789

運転設定モードのサービス店電話番号登録で設定できます。（→25ページ）

●サービス店電話番号は、30秒間表示します。

↓
ナビ確認メニュー

⑤貯湯温度表示

貯湯温度
タンク上部温度
85℃

貯湯タンクの上部の温度を表示します。

●貯湯温度は、30秒間表示します。

↓
ナビ確認メニュー

# 運転設定モード

○ 運転モードや故障時の連絡先の電話番号登録や操作音の有無、表示の明るさなどの設定ができます。

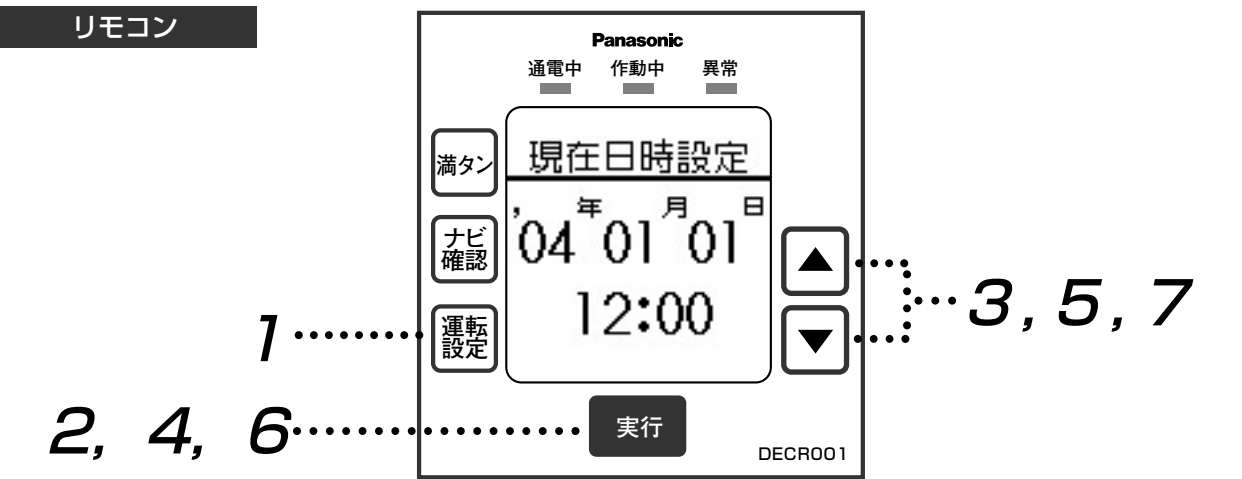
○ 運転設定モードの種類

| No. | 表示 | 内容 | お買い上げ時の設定 | 設定できる範囲 | ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 現在日時設定 | 年月日と現在時刻を設定します。 | — | 2063年まで | 16・17 |
| 2 | 運転モード選択 | 運転の種類、運転停止を設定します。 | 休止 | おまかせ・マニュアル・休止 | 18 |
| 3 | 操作音有無 | リモコン操作音の有/無を設定します。 | 有り | 有り・無し | 19 |
| 4 | 表示明るさ | リモコン表示部の輝度量を設定します。 | 操作時：ふつう<br>放置時：暗い | 明るい·ふつう·暗い（操作時·放置時） | 20 |
| 5 | 沸上げ温度 | ヒートポンプユニットの沸上げ温度を設定します。 | 90℃ | 65、70、75、80、85、90℃ | 21 |
| 6 | 定休日設定 | 店舗の定休日を曜日毎に設定します。 | 全て営業日 | 営業日・定休日（日～土曜日） | 22 |
| 7 | 運転時刻設定 | 24時間営業、営業時間ありの設定をします。営業時間ありの場合、ご使用の開始、終了時刻を設定します。 | 24時間営業 | 24時間営業·営業時間あり開始·終了時刻 | 23・24 |
| 8 | サービス店電話番号登録 | 故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録します。 | —— | “0”～“9”“—”“_”“ ”（空白） | 25 |
| 9 | 最低貯湯量 | マニュアル・モードで、ヒートポンプユニットが運転開始するタンク内の湯量条件を設定します。 | 250リットル | 100リットル、150リットル、200リットル、250リットル | 26 |



# 1.時刻合わせ（現在日時設定）

○ 現在の年月日、時刻の設定をします。
○ 初めてのご使用時、停電などで時刻がわからなくなった時は、「時計未設定」と表示します。

リモコン

**1.** 運転設定 を押します。

**2.** 実行 を押します。

**3.** ▲ ▼ を押し、点滅している「年」を合わせます。

● ▲ を押すと1年ずつ進みます。

● ▼ を押すと1年ずつ戻ります。

**4.** 実行 を押します。

「年」は点灯し、「月」は点滅します。

**5.** ▲ ▼ を押し、点滅している「月」を合わせます。

● ▲ を押すと1ヵ月ずつ進みます。

● ▼ を押すと1ヵ月ずつ戻ります。

**6.** 実行 を押します。

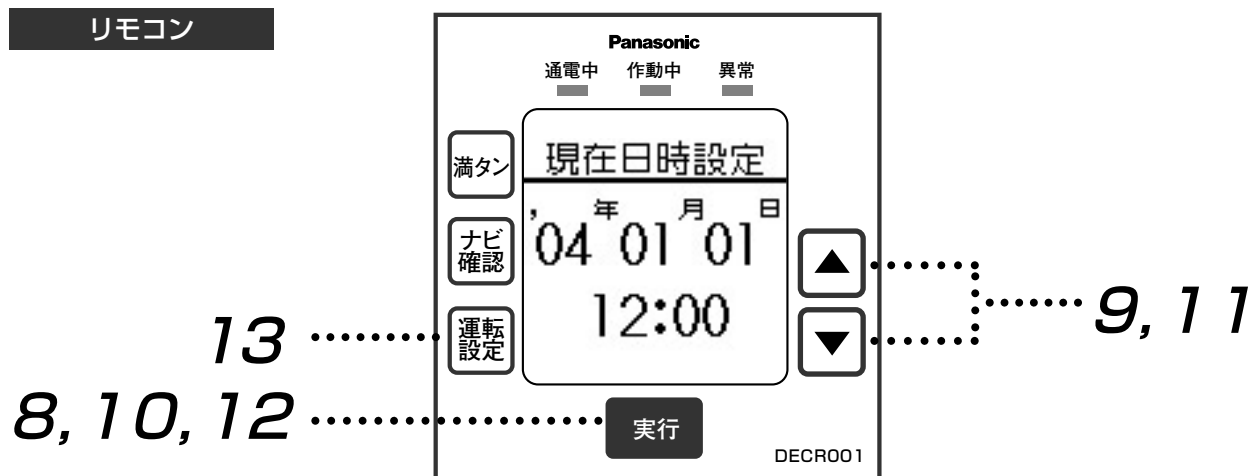
「月」は点灯し、「日」は点滅します。

**7.** ▲ ▼ を押し、点滅している「日」を合わせます。

● ▲ を押すと1日ずつ進みます。

● ▼ を押すと1日ずつ戻ります。

# 1.時刻合わせ

リモコン

**8.** 実行 を押します。

「日」は点灯し、「時」は点滅します。

**9.** ▲▼を押し、点滅している「時」を合わせます。

● ▲ を押すと1時間ずつ進みます。

● ▼ を押すと1時間ずつ戻ります。

**10.** 実行 を押します。

「時」は点灯し、「分」は点滅します

**11.** ▲▼を押し、点滅している「分」を合わせます。

● ▲ を押すと1分ずつ進みます。

● ▼ を押すと1分ずつ戻ります。

**12.** 実行 を押します。

全て点灯し（3秒間）、設定されます。
「運転設定メニュー」が表示されます。

**13.** 運転設定 を押します。

通常の表示に戻ります。

**ご注意**

- 各設定中に30秒以上スイッチが押されないと、各設定値はキャンセルされ「運転設定メニュー」に戻ります。再度設定をしてください。
- 約4時間以上の停電や漏電ブレーカを「切」にしていたとき、表示上部に「時計未設定」が表示されますので、時刻を合わせ直してください。
- 時刻は、ずれることがありますので、ときどき確認をおこない時刻の修正をしてください。
- 「時計未設定」が表示されていると、「24時間」、「定休日なし」の設定で運転をおこないます。



# 2.運転モードの設定

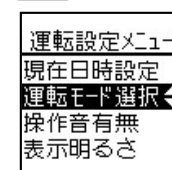
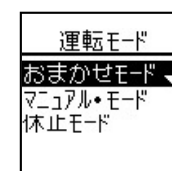
- 4種類の中から運転モードをお選びいただけます。
- 通常は「おまかせ」モードの使用をおすすめします。

**運転モードの種類**

| 名　称 | 特　徴 | 設定方法 |
|---|---|---|
| おまかせモード（推奨） | 過去1週間の使用湯量から、最適な運転をおこないます。（一般的なご使用の時） | 下記をご参照ください |
| マニュアル・モード | お客様が設定された最低貯湯量（→26ページ）より貯湯タンクの湯が減ると、満タンまで沸し上げます。 | 下記をご参照ください |
| 満タンモード | タンク内の貯湯量が250リットル未満になると、満タンになるまで沸かし上げます。（湯の使用量が多い時） | 「満タン」スイッチを押す（→27ページ） |
| 休止モード | ・ヒートポンプユニットを停止します。（定休日以外で、数日間、湯を使用にならない時）<br>・電源ブレーカをOFFする時は、休止モードにしてください。 | 数日間、湯を使用しない時（→29ページ）<br>長期間、湯を使用しない時（→30ページ） |

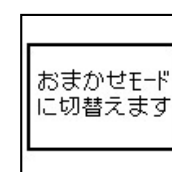
※1：設定された最低貯湯量が、少ない場合、湯切れが起こる場合があります。

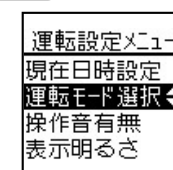
**おまかせモードの設定**

**1.** 運転設定 を押します。

**2.** ▼ を押します。

**3.** 実行 を押します。



**4.** 実行 を押します。

**マニュアル・モードの設定**

**1.** 運転設定 を押します。

**2.** ▼ を押します。

**3.** 実行 を押します。

**4.** ▼ を押します。

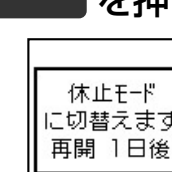
**5.** 実行 を押します。

**休止モードの設定**

**1.** 運転設定 を押します。

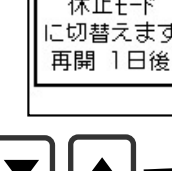
**2.** ▼ を押します。

**3.** 実行 を押します。

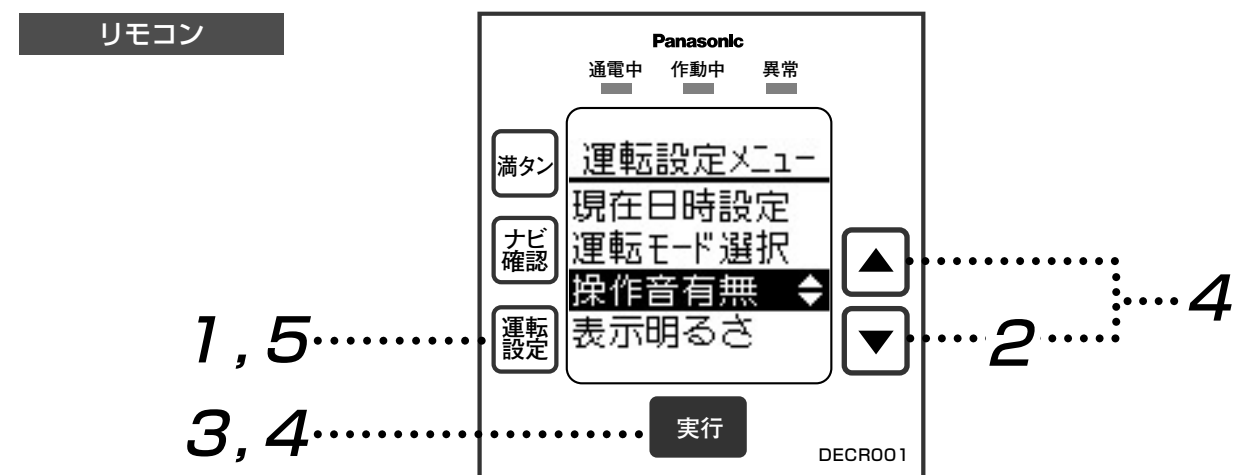
**4.** ▼ を2回押します。

**5.** 実行 を押します。

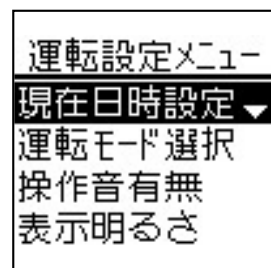
**6.** ▼▲ で日数を選択します。

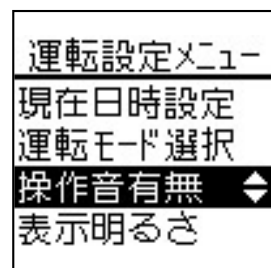
**7.** 実行 を押します。

**ワンポイント**

- 上手に湯を使っていただくためにも、「おまかせ」モードで使用されることをお奨めします。湯切れを起こしにくく、経済的に使用いただけます。

# 3.操作音の設定

○ リモコン操作時の音の有／無を設定します。

リモコン

**1.** 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

**2.** ▼ を2回押します。

**3.** 実行 を押します。

操作音設定モードに切り替わります。

**4.** ▲ ▼ を押し、操作音の有無(ON.OFF)を選択して、

実行 を押します。

「運転設定メニュー」になります。

**5.** 運転設定 を押し、

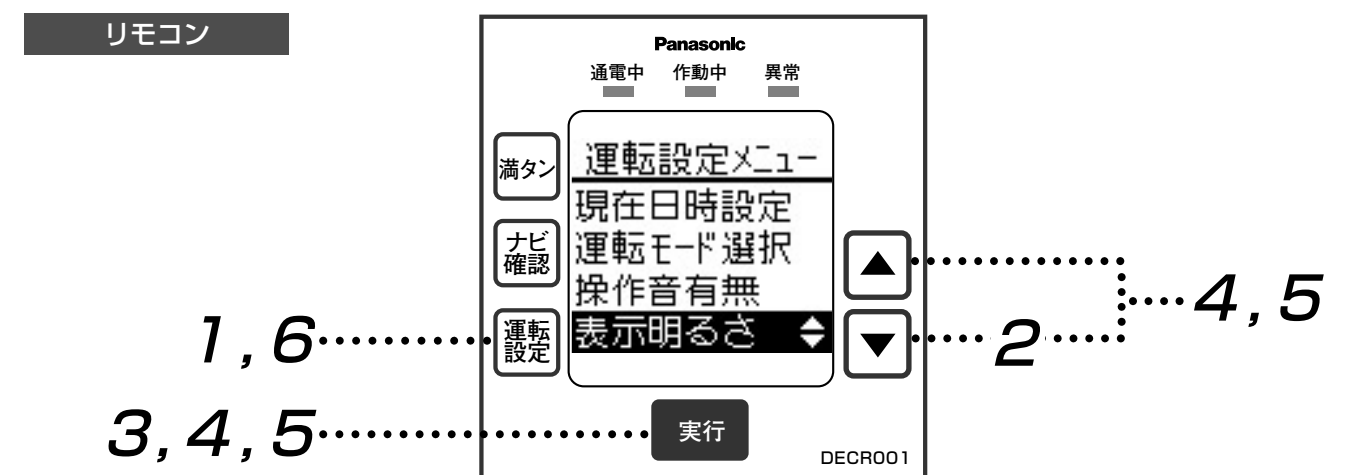
通常モードに戻ります。



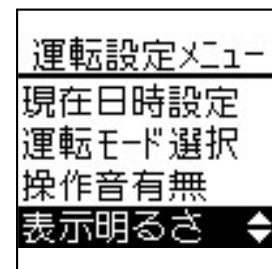


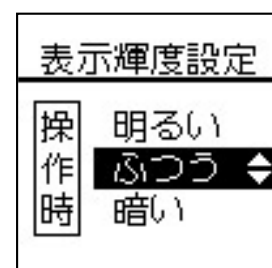
# 4.表示明るさ設定

○ リモコンの表示部の輝度（明るい／ふつう／暗い）を設定します。

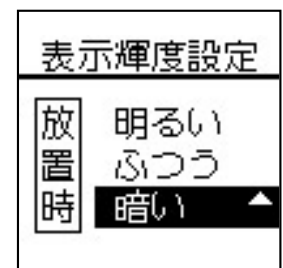
リモコン

**1.** 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

**2.** ▼ を3回押します。

**3.** 実行 を押します。

操作時の表示明るさ設定モードになります。

**4.** ▲ ▼ を押し、操作時の表示明るさを「明るい」､「ふつう」､「暗い」から選択して、

実行 を押します。

放置時の表示明るさ設定モードになります。

**5.** ▲ ▼ を押し、放置時の表示明るさを「明るい」､「ふつう」､「暗い」から選択して、

実行 を押します。

放置時の表示明るさは、スイッチ操作10分以降の明るさの設定です。

「運転設定メニュー」になります。

**6.** 運転設定 を押し、

通常モードに戻ります。

# 5.沸上げ温度の設定

○高温出湯温度を考慮して設定してください。

リモコン

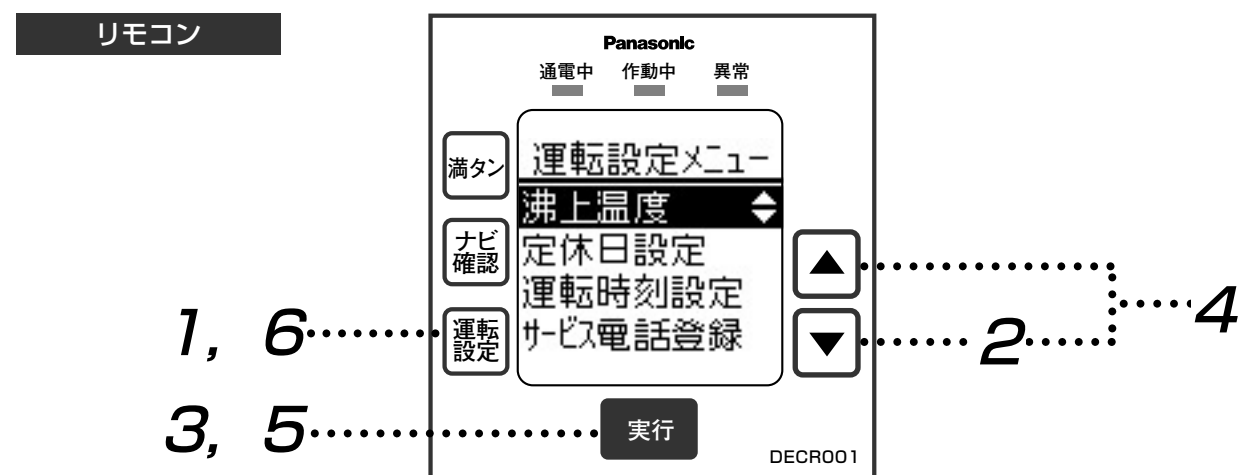
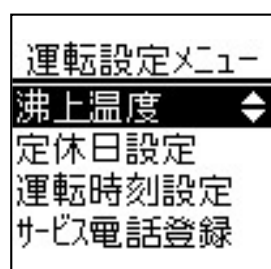
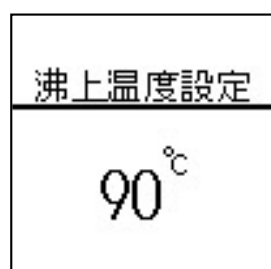
Panasonic
通電中 作動中 異常
満タン
ナビ確認
運転設定
運転設定メニュー
沸上温度
定休日設定
運転時刻設定
サービス電話登録
実行
DECR001
1，6
2
3，5
4

**1.** [運転設定] を押します。

**2.** [▼] を4回押します。

運転設定メニュー
沸上温度
定休日設定
運転時刻設定
サービス電話登録

**3.** [実行] を押します。

沸上温度設定
90℃

**4.** [▲] [▼] を押し、沸上げ温度を合わせます。

（設定は、65、70、75、80、85、90℃のいずれかです。）

**5.** [実行] を押します。

点灯し、設定されます。「運転設定メニュー」が表示されます。

**6.** [運転設定] を押します。

通常の表示に戻ります。

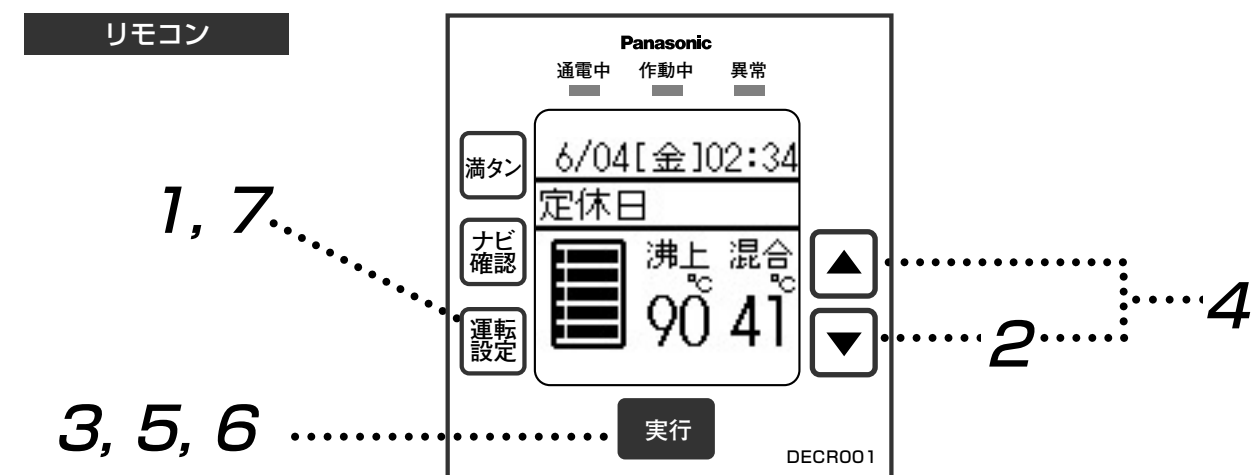
**ご注意**

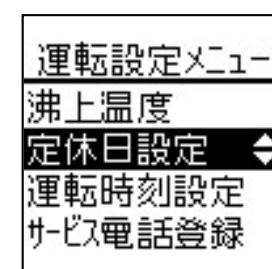
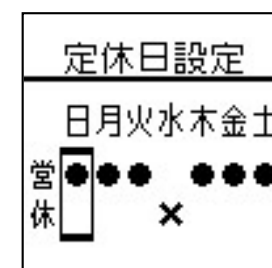
- ●高温出湯配管などの耐熱温度より高く設定しないでください。耐熱温度は、取扱店（工事店）にご確認ください。
- ●沸上げ温度の設定を変更した後しばらくは、通常画面の沸上温度と異なる温度の湯が出ることがあります。
  高温出湯温度は、次回以降のヒートポンプユニットの沸上げ時の温度設定のため、貯湯されている湯の温度を、すぐに変えることはできません。
- ●湯を長時間使用されない時、設定温度より低い湯が出る場合があります。（高温出湯温度が低くなる場合があります。）
- ●沸上げ温度を低くすると一日に使用できる湯の量が少なくなります。（湯合給湯をしている場合）



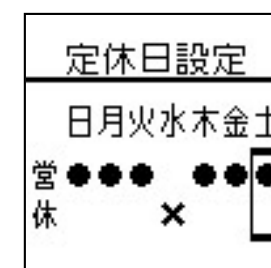
# 6.定休日の設定

○曜日毎にヒートポンプユニットの運転日、定休日を設定することができます。

リモコン

**1.** [運転設定] を押します。

**2.** [▼] を5回押します。

**3.** [実行] を押します。

**4.** [▲] [▼] を押し、日曜日から順に営業、定休を合わせます。

- ●[▲] を押すと営業日になります。
- ●[▼] を押すと定休日になります。

**5.** [実行] で次の曜日へ移ります。各曜日の営業日、定休日を合わせます。（土曜日まで）

**6.** [実行] を押します。

3秒後、「運転設定メニュー」が表示されます。

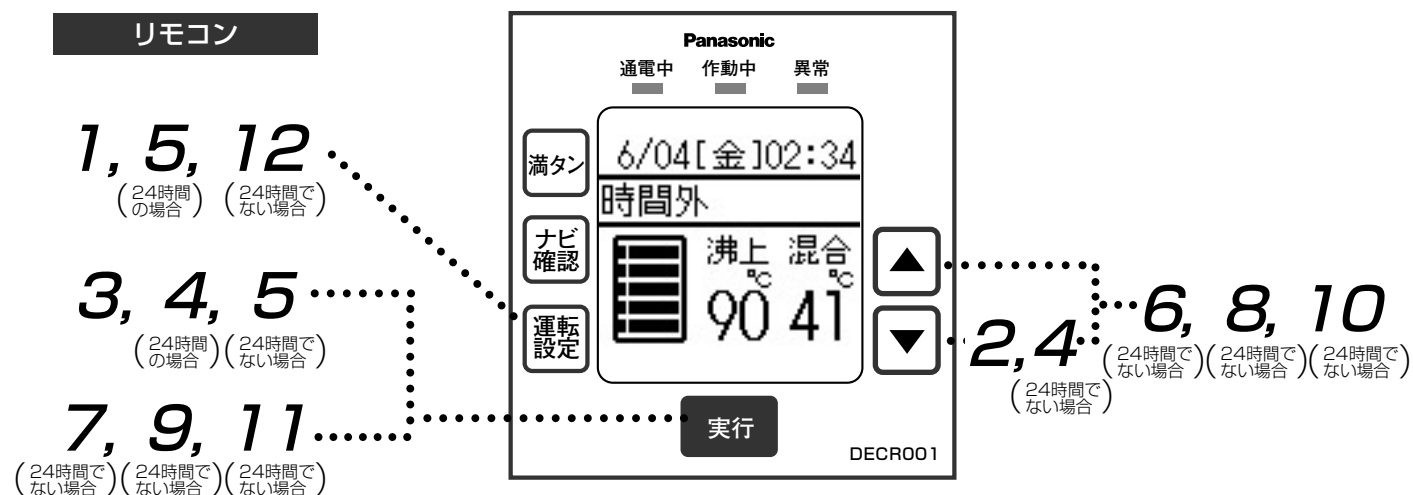
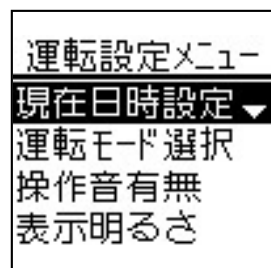
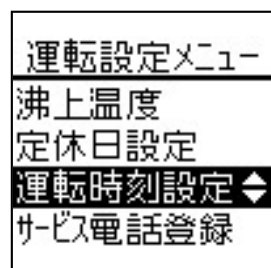
**7.** [運転設定] を押します。

通常の表示に戻ります。
（→24ページの図をご参照ください）

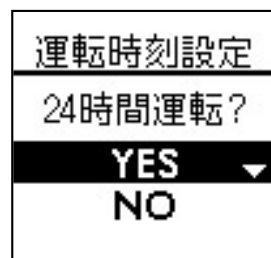
**ワンポイント**

- ●定休日に設定されている日でも、湯を使用されますと、ヒートポンプユニットは運転を開始し営業日と同様の運転をおこないます。
- ●工場出荷時は、毎日「営業日」と設定しています。

# 7.運転時刻の設定

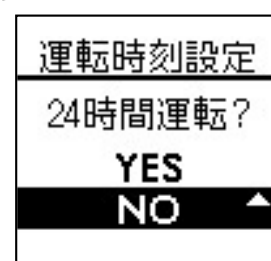
○ お店の準備開始時刻、かたづけ終了時刻を設定してください。
24時間営業のお店にも対応しております。

**1.** 運転設定 を押します。

**2.** ▼ を6回押します。

**3.** 実行 を押します。

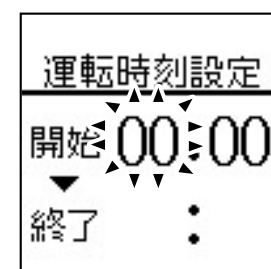
<営業形態が24時間の場合>

**4.** 実行 を押して「YES」に設定します。

**5.** 運転設定 を押します。
通常の表示に戻ります。

<営業形態が24時間でない場合>

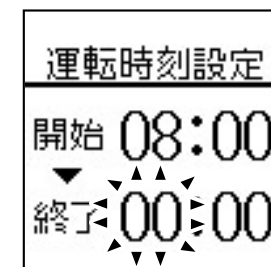
**4.** ▼ を押します。

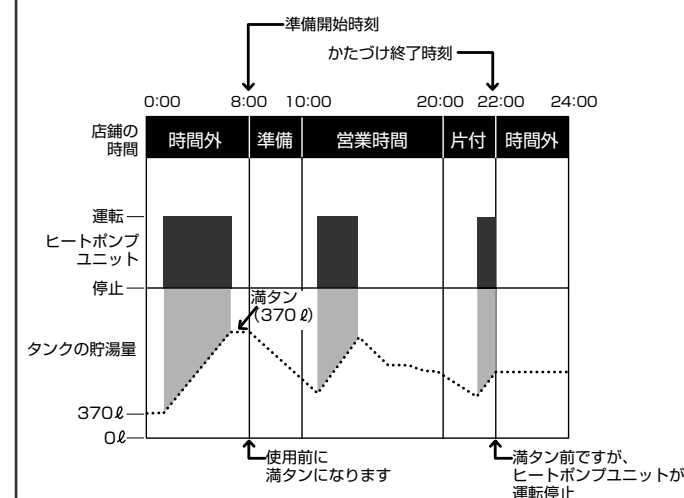
**5.** 実行 を押して「NO」に設定します。

# 7.運転時刻の設定

**6.** 準備開始時刻(時)を
▲ ▼ を押し、合わせます。

**7.** 実行 を押します。

**8.** 準備開始時刻(分)を
▲ ▼ を押し、合わせます。

**9.** 実行 を押します。

**10.** かたづけ終了時刻(時・分)も同様に合わせます。

**11.** 実行 を押します。
すべて点灯し(3秒間)、設定されます。
「運転設定メニュー」が表示されます。

**12.** 運転設定 を押します。
通常の表示に戻ります。

**ワンポイント**
●工場出荷時は、「24時間」と設定しています。

運転設定モード

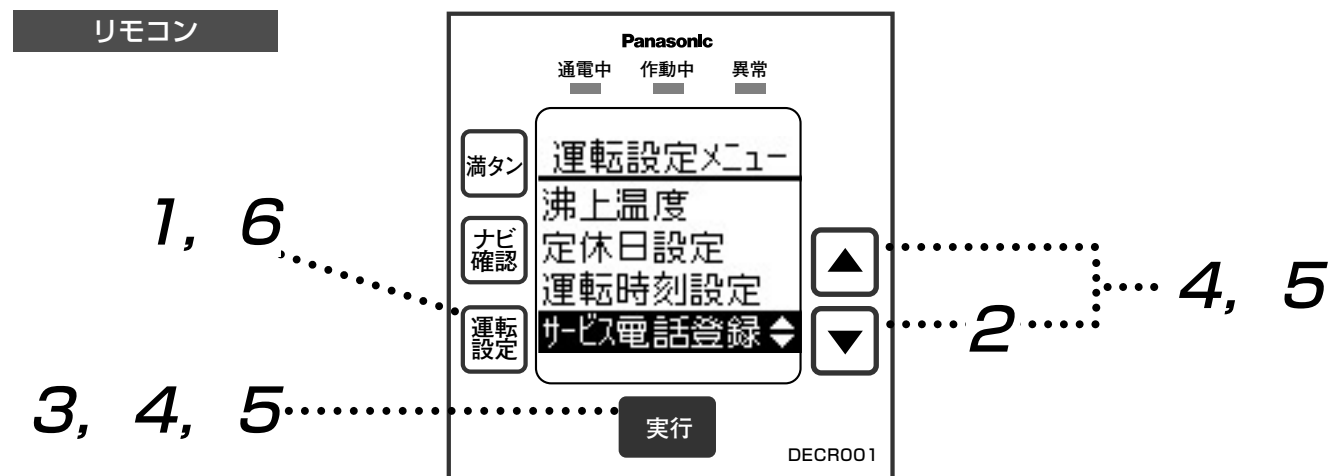
# 8.サービス店電話番号登録

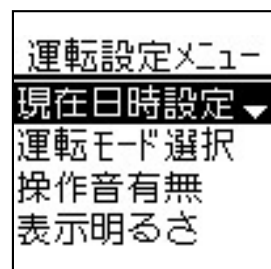
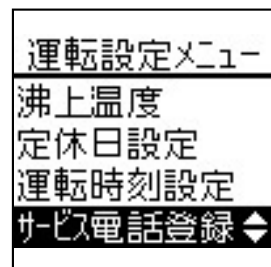
○ 故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録することができます。

リモコン

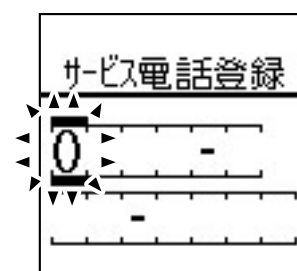
**1.** 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

運転設定メニュー
現在日時設定
運転モード選択
操作音有無
表示明るさ

**2.** ▼ を7回押します。

運転設定メニュー
沸上温度
定休日設定
運転時刻設定
サービス電話登録

**3.** 実行 を押します。

サービス店電話番号登録のモードに切り替わります。

サービス電話登録
0　-
-

**4.** 1桁目に数字等を設定します。

設定する位置が点滅します。

▲ ▼ を押し、“0” ～ “9”、“—”、“_”、“ ”（空白）のいずれかを選択して、

実行 を押して下さい。次の桁に移ります。

**5.** 2～13桁目も4の手順を繰り返します。

すべての数値が3秒間点灯し、上記設定の電話番号を記憶します。

**6.** 「運転設定メニュー」になります。

運転設定 を押し、通常モードに戻ります。

**ワンポイント**

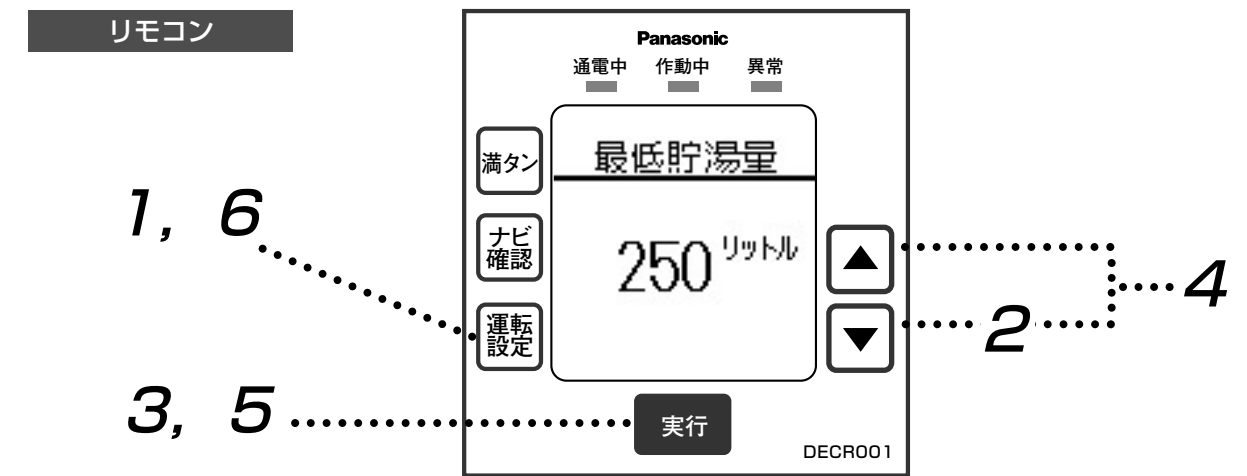
●設定できる文字は、“0” ～ “9”、“—”、“_”、“ ”（空白）があります。

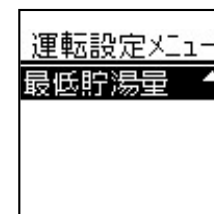
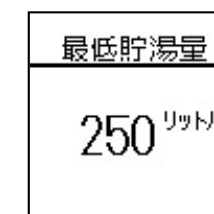


# 9.最低貯湯量の設定

○マニュアル・モード時のみの本設定は有効です。貯湯タンク内の湯の量が最低貯湯量を下回ると、ヒートポンプユニットは、運転を開始します。

リモコン

**1.** 運転設定 を押します。

「運転設定メニュー」に切り替わります。

**2.** ▼ を8回押します。

**3.** 実行 を押します。

最低貯湯量
250 リットル

**4.** ▲ ▼ を押し、最低貯湯量を合わせます。

● ▲ を押すと量が増えます。

● ▼ を押すと量が減ります。

（設定は、250、200、150、100リットルがあります。）

**5.** 実行 を押します。

点灯し（3秒間）、設定されます。
「運転設定メニュー」が表示されます。

**6.** 運転設定 を押します。

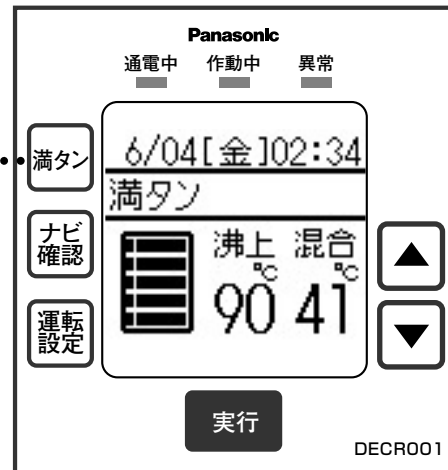
通常の表示に戻ります。

**ワンポイント**

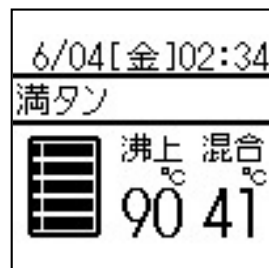
最低貯湯量は、ナビの湯量表示モードで最少残湯量を確認してから設定してください。
最少残湯量が50リットルを下回っている時は、湯切れの可能性があります。最低貯湯量を増やしてください。

# 満タンモード

- かたづけ終了時刻がくるまで、貯湯タンクを満タンにたもちます。
- 湯をたくさん使用する日は、「満タン」を押して使用ください。

リモコン

## 満タンモードの設定

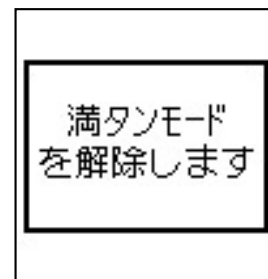
1. 満タン を押します。

2. 3秒後、通常画面にもどります。

ワンポイント

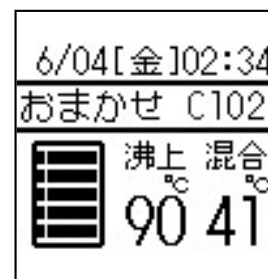
●翌日（深夜0時以降）の運転モードは、あらかじめ設定している運転モードにもどります。

## 満タンモードの解除

1. 満タン を押します。

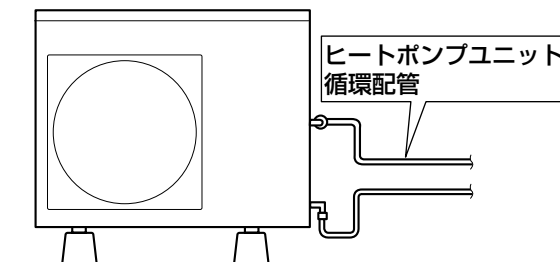
運転モードは満タンモードに入る前のモードにもどります。



2. 3秒後、通常画面にもどります。

運転モードは満タンモードに入る前のモードにもどります。

# 冬期の凍結予防について

- 冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
- 取扱店（工事店）へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

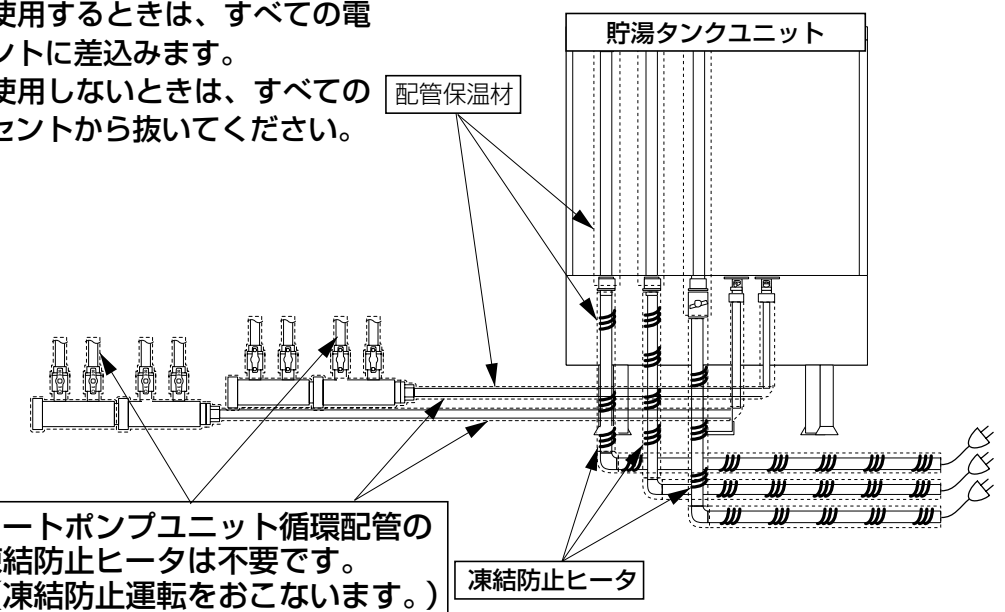
## ヒートポンプユニット配管の凍結予防

- 凍結しそうな気温になると、ヒートポンプユニットを自動的に運転してヒートポンプユニット循環配管の凍結を予防します。

1. 電源を入れたままにしておく。
2. 外気温が約2℃以下になると、ヒートポンプユニットを運転し、ヒートポンプユニット循環配管に水を循環させせます。

**ご注意**

●漏電ブレーカを「OFF」にしない。
冬期は凍結して機器が破損することがあります。
漏電ブレーカを「OFF」にする場合は、
①休止モードにしてください。（→18ページ）
②貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。（→31ページ）

## 凍結防止ヒータ（その他配管の凍結予防）

- 凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差込みます。
- 凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

**⚠注 意**

●配管の凍結防止対策を確認する。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

**お願い**

●配管が凍結した場合は、専用止水栓（給水用）を閉じて、取扱店（工事店）へご連絡ください。

# 数日間、湯を使用しないとき

○ 数日間、湯を使用しないときは、リモコンで沸上げを停止させることができます。

リモコン

設定できる範囲
・1日～15日（1日刻み）
・スイッチ再開

**1.** 運転設定 を押します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

**2.** ▼ を押します。

運転設定メニュー
現在日時設定
運転モード選択
操作音有無
表示明るさ

**3.** 実行 を押します。

運転モード
おまかせモード
マニュアル・モード
休止モード

**4.** ▼ を2回押します。

運転モード
おまかせモード
マニュアル・モード
休止モード

実行 を押します。

休止モード
に切替えます
再開 1日後

**5.** ▲ ▼ を押し、日を変更します。再開したい日を選んで 実行 を押します。

**6.** 「休止モード」になります。
ヒートポンプユニットが停止します。

**再開の方法**

● 設定日が経過すると、自動的に運転を開始します。
例えば、次の日から2日間、湯を使用にならない場合、再開3日後と設定します。

● リモコンの 実行 を押すと再開します。

**お願い**

● 1か月以上の休止期間の場合は、次ページの操作をおこなってください。

**ご注意**

● 漏電ブレーカを「OFF」にしないでください。凍結のおそれがある気温になると、ヒートポンプユニットが自動的に運転し、ヒートポンプユニット循環配管およびヒートポンプユニット内の凍結を予防します。
また、貯湯タンクユニット内は凍結防止ヒータで凍結を予防します。





# 長期間、湯を使用しないとき

○ 排水をするときは、やけどなどをしない様、ご注意ください。
○ 1カ月以上使用されないときは、運転を止め貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニットの水を抜きます。取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

**ご注意**

● 1カ月以上使用しないときは、漏電ブレーカを「OFF」にして貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。
排水しないと水質が変化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。

**休止モードにします**

**1.** 運転設定 を押します。
「運転設定メニュー」に切り替わります。

**2.** ▼ を押します。

運転設定メニュー
現在日時設定
運転モード選択
操作音有無
表示明るさ

**3.** 実行 を押します。

運転モード
おまかせモード
マニュアル・モード
休止モード

**4.** ▼ を2回押します。

運転モード
おまかせモード
マニュアル・モード
休止モード

**5.** 実行 を押します。

**6.** もう1度 実行 を押します。

ヒートポンプユニットが停止します。

**7.** 電源ブレーカをOFFにします。

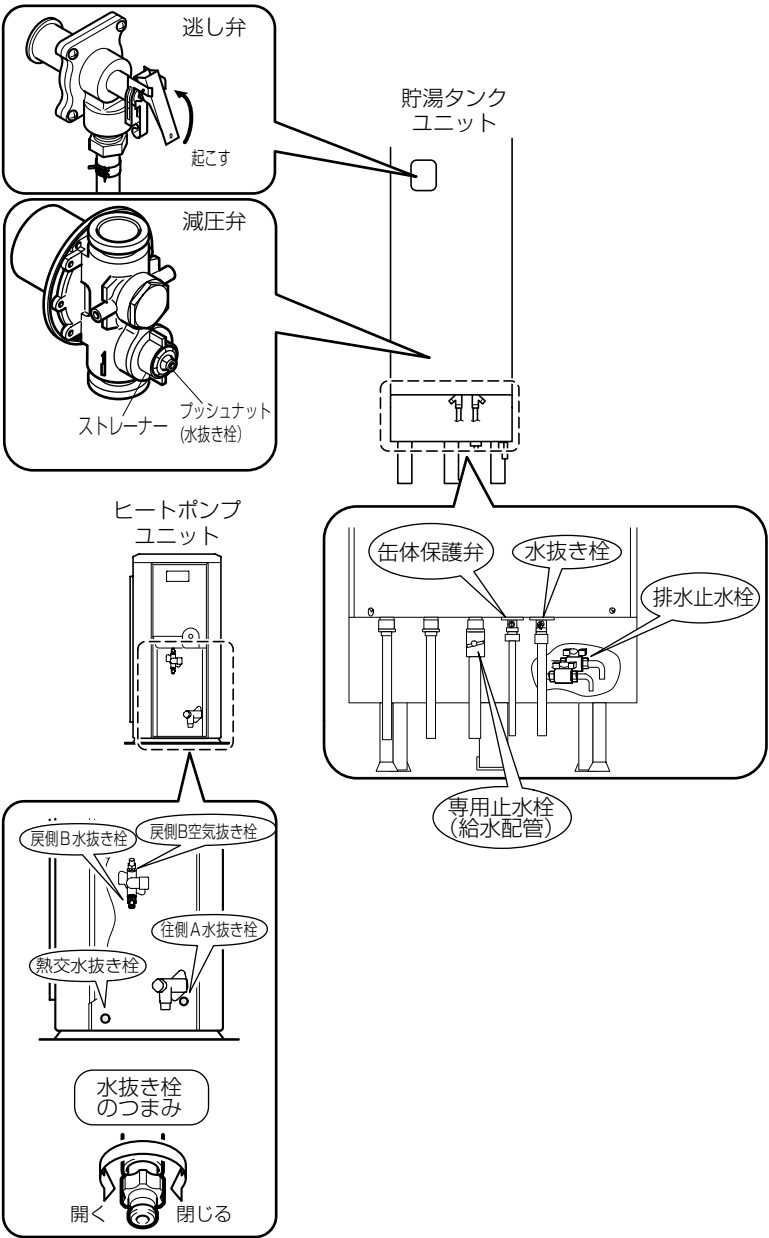
● 分電盤内の貯湯タンクユニット用ブレーカと、ヒートポンプユニット用ブレーカをOFFにします。

**お願い**

● ブレーカをOFFにする際は、休止モード設定後、10秒以上あけてから操作してください。

# 長期間、湯を使用しないとき

**排水をします**

1. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。
2. 前扉を開けます
3. 貯湯タンクユニットの逃がし弁のレバーを起こし、弁を開放します。
4. 貯湯タンクユニットの下部にある排水止水栓を開きます。
5. 排水止水栓からの排水が終ったら、ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開きます。（開放のまま）
6. ヒートポンプユニットの往側Aおよび戻側Bの水抜き栓（2か所）を開きます。（開放のまま）
7. ヒートポンプユニットの戻側Bの空気抜き栓（1か所）を開き、下側の水抜き栓からの排水を確認します。
8. 貯湯タンクユニットにあるヒートポンプ循環口の水抜き栓と缶体保護弁を開きます。
9. 貯湯タンクユニット内の減圧弁部の水抜き栓を開きます。
   （プッシュナットを押すと水が出て、引くと止まります。）
10. 配管の途中に水抜き栓が設けられている場合はこれも開きます。
11. 排水が終了したら、すべての水抜栓・空気抜き栓・排水止水栓を元どおり閉じます。
12. 前扉を元通りに閉めます。



**⚠注 意**

- 排水時は湯に手を触れないでください。
- 貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れないでください。
  やけどをするおそれがあります。

**お願い**

- 再び使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→9ページ）の手順の準備作業をおこなってください。
- 水抜き作業後に逃し弁のレバーが下がっていること、水抜き栓・空気抜き栓・排水止水栓が閉じていることを確認してください。



# 停電したときや断水・水道工事がおこなわれるとき

○ 取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

## 停電により時刻が止まってしまった場合

○ 停電が4時間以上継続した場合は、リモコン画面上段に「時計未設定」を点灯してお知らせします。
（短時間の停電であればメモリ機能により保存されますので、以下の操作は必要ありません。）

### 再設定が必要な機能

●次の機能はお買い上げ時の設定に戻りますので、使用の状態に合わせて再設定してください。

| 再設定が必要な機能 | 説明ページ |
|---|---|
| 現在時刻 | →16ページ |
| 混合給湯温度 | →8ページ |

## ヒートポンプユニットの沸上げ

○ 停電の場合は、停電終了後沸上げをおこないます。

## 断水や近くで水道工事がおこなわれるとき

○ 工事がおこなわれる前に専用止水栓（給水配管）を閉じてください。
○ 工事が終了したら、水道用水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、専用止水栓（給水配管）を開いて使用を再開してください。

**お知らせ**

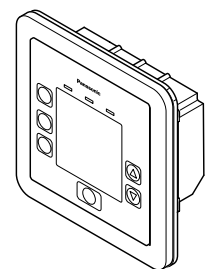
- 濁った水が貯湯タンクユニット内のストレーナを目詰まりさせ、湯量が減少したり、湯が濁る原因となります。

**お願い**

- 断水している時は湯を使用しないでください。湯を使用されるとエラーコードを表示する場合があります。

# お手入れと日常点検

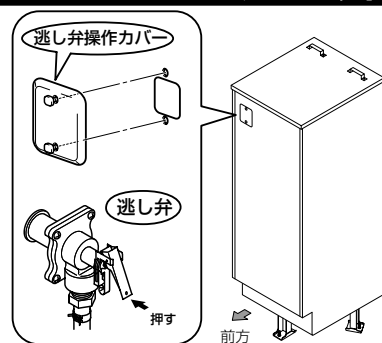
- 点検の結果異常があった場合は、取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

## リモコンのお手入れ（日常）

リモコン

●画面にエラーもしくはアラーム表示が出ていないか確認してください。
ブザーがなっている時は 実行 ボタンを押してブザーを止めてください。
●リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。

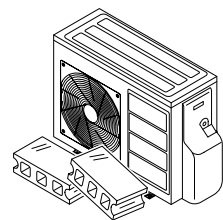
**お願い**

**●リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。**
**●洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。**

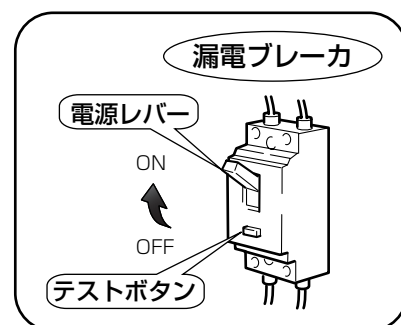
## 逃し弁の点検（月に1回）

●運転モードを休止モードに設定してください。
（→18ページ）
●逃し弁操作カバーを開けてください。
●逃し弁のレバーを2〜3回押してください。

**お知らせ**

**●逃し弁のレバーを押した時だけドレン水が排水されていれば正常です。**
**●カバー・ねじは紛失しないよう注意してください。**

## ヒートポンプユニット周辺の点検（月に1回）

●空気吸込口や空気吐出口周辺に通風の妨げになるものがないか、確認してください。
●ヒートポンプユニット停止中（ファンが回転していない時）にドレン水が出ていないか確認してください。
●ファンに異物の混入（木の枝など）がないか確認してください。

## 漏電ブレーカの動作点検（月に1回）

貯湯タンクユニット
ヒートポンプユニット

●運転モードを休止モードに設定してください。
（→18ページ）
●分電盤内の貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニット用漏電ブレーカのテストボタンを押してください。

**お知らせ**

**●電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。**

**●点検終了後は、電源レバーを「ON」に戻し、リモコンの 実行 を押してください。**

**⚠警 告**

**●漏電ブレーカの動作を確認してください。**
故障のまま使用すると、感電するおそれがあります。



# 定期点検

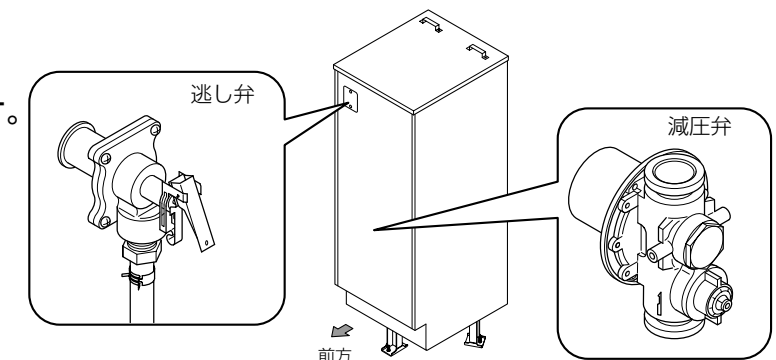
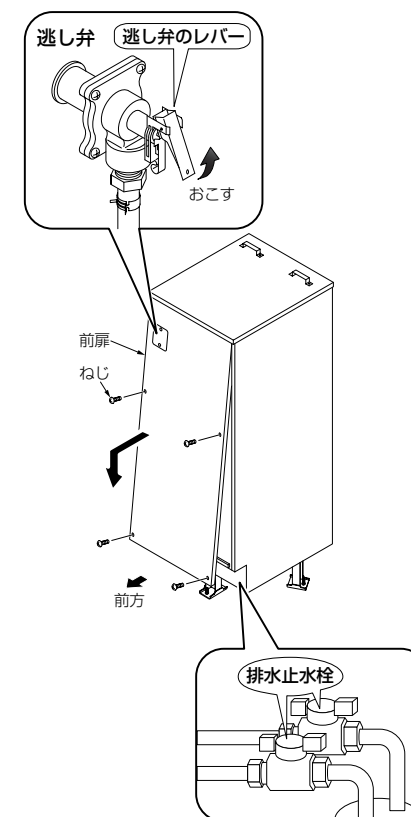
- ヒートポンプユニットを長くお使いいただくために、メンテナンス契約による定期点検（有料）をおこなってください。
- 取扱店（工事店）に作業を依頼してください。

## 定期点検の主な内容

- **定期点検については、取扱店（工事店）または『パナソニック電工お客様ご相談窓口』へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。**

| 項　目 | 内　容 |
|---|---|
| 据付け状態 | 設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。 |
| 機能部品 | 電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（逃し弁、減圧弁）などの点検。 |
| 清　　掃 | 貯湯タンクユニット内の清掃。（沈澱物の除去など） |

## 消耗部品の交換

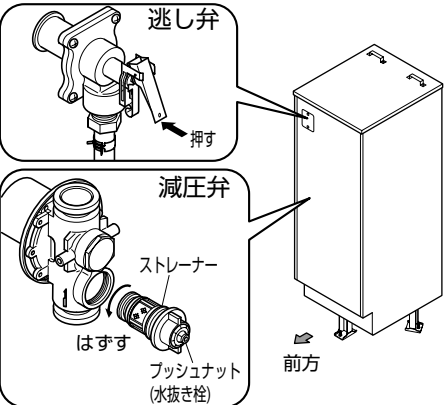
- **減圧弁・逃し弁は、消耗品です。**
- **使用水質によっては、3年程度で消耗、劣化しやすい部品があります。**

## 貯湯タンク内の清掃（年に2〜3回）

●使用しているうちに水あかや沈殿物がタンクの底にたまります。きれいな湯を使用いただくために、必ず定期的に排水止水栓から水あかなどを排出してください。
●運転モードを休止モードに設定してください。
（→18ページ）
●専用止水栓（給水配管）を閉じてください。
●前扉を開け、貯湯タンクユニット下部にある排水止水栓を開きます。
●逃し弁のレバーをおこし、貯湯タンクユニット内の水を排水します。
●1〜2分間排水し、汚れがなくなったら排水止水栓を閉じ、逃し弁のレバーを戻してください。
●専用止水栓（給水配管）を開いてください。
●排水口に湯（水）が出てくるまで逃し弁のレバーを押してください。
●点検終了後は、前扉を閉めリモコンの 実行 を押してください。

**⚠注 意**

**●排水時には湯に手を触れないでください。**
**●貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れないでください。**
やけどをするおそれがあります。

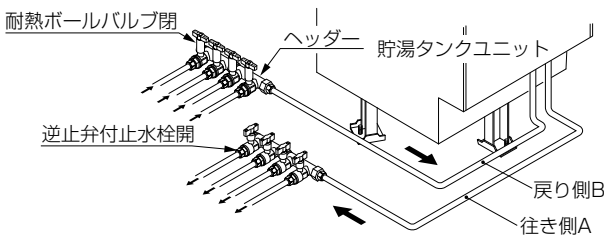
## ストレーナーの清掃（年に2〜3回）

### タンクユニット

逃し弁
押す
減圧弁
ストレーナー
はずす
プッシュナット（水抜き栓）
前方

1. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。
2. ドレンホースから水が出なくなるまで逃し弁を押して水を抜き、タンク内の圧力を逃してください。
3. 減圧弁のストレーナーを外し、ゴミつまりを点検し、その後ストレーナーを元に戻してください。
   - ●ゴミがつまっている時はブラシなどを使い水でよく洗い流します。
4. 専用止水栓（給水配管）を開きます。

**⚠注 意**

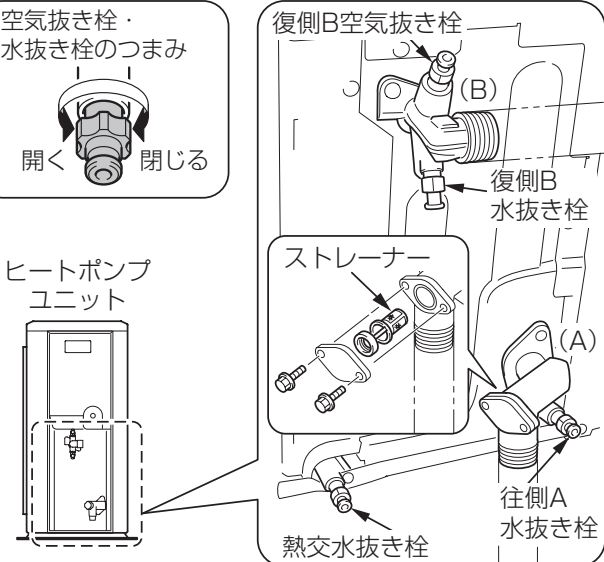
- **●止水栓を閉じ、逃し弁を押して水を抜かないと水が噴き出します。**
- **●ストレーナーを外す際には多少水が出てきますので、バケツなどで受けてください。**

### ヒートポンプユニット

1. ヒートポンプユニットの循環配管のすべてのバルブ（往き側A、戻り側B）を閉じます。
2. ヒートポンプユニット内の圧力を逃します。往側A水抜き栓を開き、その後水が出なくなれば閉じてください。
3. ヒートポンプユニット往側A接続口のストレーナーを外し、ゴミつまりを点検し、その後ストレーナーを元に戻してください。
   - ●ゴミがつまっている時はブラシなどを使い水でよく洗い流します。
4. すべてのヒートポンプユニットについて2〜3の作業をおこなってください。
5. 1のすべてのバルブを開きます。

**⚠注 意**

- **●直接、湯をさわらないでください。**
  やけどをするおそれがあります。

**ご注意**

- **●点検終了後は、リモコンでエア抜きをおこなってください。**
  「はじめてご使用になるとき」（→11ページ）







## お手入れと日常点検

**○ 点検の結果、異常があった場合は取扱店（工事店）に作業を依頼してください。**

★：取扱説明書

| 部　位 | 点検箇所 | 点検内容 | 異常の原因 | 処置・対策 | 参照項目 | 日常 | 一か月に1回 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **リモコン** | | | | | | | |
| 本体 | 画面表示 | エラー表示が出ていないか | — | 取扱店（工事店）へ連絡 | ★P.39「エラー・アラーム表示(表示がある場合)」の項 | ○ | — |
| | 表面 | 汚れ、水漏れがないか | — | 汚れは水にぬらした柔らかい布で拭き取る 水濡れは柔らかい乾いた布で拭く | ★P.33「リモコンのお手入れ(日常)」の項 | ○ | — |
| **貯湯タンクユニット** | | | | | | | |
| 逃し弁 | 逃し弁レバー | レバーを押した時に湯（水）がでるか | 逃し弁の故障、または減圧弁の故障 | 取扱店（工事店）へ連絡 | ★P.33「逃し弁の点検(月に1回)」の項 | — | ○ |
| | ドレン水排水状況 | ヒートポンプユニットが運転していない時に排水していないか | | | — | — | ○ |
| **ヒートポンプユニット** | | | | | | | |
| 空気吸込口 空気吹出口 | 前後周囲 | 遮へい物がないか | — | 蒸発器のフィンに触れないように注意し、遮へい物を取除く | — | — | ○ |
| | | 異物かみ込みがないか | — | リモコンで「休止モード」に設定しヒートポンプユニットの運転を止め、異物を取除く | ★P.33「ヒートポンプユニット周辺の点検(月に1回)」の項 | — | ○ |
| ドレン排水 | 排水口 | ヒートポンプユニットが運転していない時に排水していないか | ヒートポンプユニット内部での漏水 | 取扱店（工事店）へ連絡 | | — | ○ |
| **その他共通** | | | | | | | |
| 分電盤 | 漏電ブレーカ | テストボタンを押して作動確認する | 漏電ブレーカの故障 | 取扱店（工事店）へ連絡 | ★P.33「漏電ブレーカの動作点検(月に1回)」の項 | — | ○ |
| — | 設置周囲 | 水漏れまたは水漏れ跡がないか | 配管部材もしくは配管接続部からの漏水 | | | — | ○ |

## 定期点検

店 舗 名：

施 工 日：

施 主 名：

工事店名：

| 責任者 | 担当者 |
|---|---|
| | |

★：取扱説明書

| 部位 | 点検箇所 | 点検内容 | 異常の原因 | 処置・対策 | 参照項目 | 一年に2~3回 | 一年に1回 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 貯湯タンクユニット | | | | | | | |
| 前扉 | ねじ類 | ゆるみがないか | 貯湯タンクユニットが著しく振動している | 増し締めをする（締付適正トルク：1.5N·m） | サービスマニュアル「3章 3. 2. 取外し時の前作業」の項 | | ○ |
| | | | | 振動原因対策を行う | — | | |
| 逃し弁およびドレンホース | ドレンホースクランプ部 | ホースの痩せ、クランプ外れがないか | 高温による劣化 | クランプ部の位置をずらす | — | | ○ |
| | ドレン水排水状況 | ヒートポンプユニットが運転していない時に排水していないか | 逃し弁の故障、または減圧弁の故障 | 逃し弁または減圧弁の交換 | 施工説明書「3. 配管工事 ホースの取りまわし」の項 | | ○ |
| | 逃し弁レバー | レバーを押した時に湯（水）がでるか | | | ★P.33「逃し弁の点検(月に1回)」の項 | ○ | ○ |
| | 排水口 | 排水口に導かれているか | — | 排水口に導く | 施工説明書「3. 配管工事 ホースの取りまわし」の項 | | ○ |
| 凍結防止ヒータ | ヒータ取付位置 | ヒータが外れていないか 保温材やハーネスに接触していないか | | 電源を切り適正な取付け位置へ戻す | サービスマニュアル「3章 3. 4-14 凍結防止ヒータ」の項 | | ○ |
| 減圧弁 | ストレーナー | 水あかや異物が詰まっていないか | 水道配管内の水あか等の異物詰まり | ストレーナーの清掃 | ★P.35「ストレーナーの清掃(年に2~3回)」の項 | ○ | ○ |
| 貯湯タンクユニット内部 | 底面 | 水漏れまたは水漏れ跡がないか | 貯湯タンクユニット内部での漏水 | 内部を確認し原因部品の交換 | サービスマニュアル「3章 3. 4. 部品取外し作業」の項 | | ○ |
| タンク缶体 | タンク缶体底部の汚れ | タンク缶体底部の清掃 | 水あか等の沈殿 | タンク缶体底部の水（湯）を排出 | ★P.34「貯湯タンク内の清掃(年に2~3回)」の項 | ○ | ○ |
| 貯湯ECU基板 | 電源端子台 | 変形はないか | 接続のゆるみ（接触不良）、あるいは電線の断線による温度上昇 | 原因を特定するゆるみの場合は接続し直す | 施工説明書「4-3.貯湯タンクユニットへの配線工事」の項 | | ○ |



点検リスト

★:取扱説明書

| 部位 | 点検箇所 | 点検内容 | 異常の原因 | 処置・対策 | 参照項目 | 一年に2~3回 | 一年に1回 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 貯湯タンクユニット | | | | | | | |
| 配線 | 被覆 | 変形、変色はないか | 接続不良による温度上昇 | 貯湯タンクECU基板のコネクタや中継コネクタの接続状況を確認し、接続不良であれば該当部位を含む配線を交換 | サービスマニュアル「3章 3. 4-15 ハーネス（貯湯ECU基板）」の項 | | ○ |
| | | | 貯湯タンクECU基板不良 | 貯湯タンクECU基板の交換 | | | ○ |
| | コネクタ部 | 被水および被水痕の有無 | 貯湯タンクユニット内部配管類からの漏水 | 被水原因の特定と補修をし、被水部品を交換 | | | ○ |
| ヒートポンプユニット | | | | | | | |
| 空気吸込口 空気吹出口 | 前後周囲 | 遮へい物がないか | — | 蒸発器のフィンに触れないように注意し、遮へい物を取除く | ★P.33「ヒートポンプユニット周辺の点検(月に1回)」の項 | | ○ |
| | | 異物かみ込みがないか | — | リモコンで「休止モード」に設定しヒートポンプユニットの運転を止め、異物を取除く | | | ○ |
| 内部駆動部品 | 循環ポンプ | 異音がしないか、摺動音がしないか | 磨耗劣化 | 原因部品の交換 | サービスマニュアル「3章 4. ヒートポンプユニットの部品取外し手順」の項 | | ○ |
| | ファンモータ | | | | | | ○ |
| | コンプレッサ | | | | | | ○ |
| ドレン排水 | 排水口 | ヒートポンプユニットが運転していない時に排水していないか | 内部での水漏れ | 原因部品の交換 | | | ○ |
| 架台 | | | | | | | |
| | 組立て部 | がたつきや傾きはないか | 部材締結部品のゆるみ、外れ | 説明書に従い補修 | 付属説明書 | | ○ |
| その他共通事項 | | | | | | | |
| 外観 | 外装ケース | キズの有無を確認 | — | 補修塗料でタッチアップ | — | | ○ |
| 分電盤 | 漏電ブレーカ | テストボタンを押して作動確認 | 漏電ブレーカの故障 | 漏電ブレーカの交換 | ★P.33「漏電ブレーカの動作点検(月に1回)」の項 | | ○ |
| 絶縁抵抗 | 貯湯タンクユニット | 絶縁抵抗の測定 | — | — | — | | ○ |
| | ヒートポンプユニット | | | | | | ○ |
| 配管全般 | 固定周囲、地面 | 水漏れもしくは水漏れ痕がないか | 配管経路からの漏水 | 漏水部分の特定と補修 | | | ○ |
| | ラッキング部 | 破損がないか | — | 破損部の補修 | | | ○ |
| | | 配管サポートが外れていないか | — | 配管サポートの再固定 | | | ○ |

故障かなと思ったら

## こんな時は故障ではありません

**○ ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す。**
気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。
気温が低いときは、ヒートポンプ配管および、ヒートポンプ内配管の凍結防止のため、運転／停止を繰り返します。

**○ 運転時刻以前に、ヒートポンプユニットが運転している。**
運転開始時刻に貯湯タンクを満タンにするため、ヒートポンプユニットが運転します。

**○ 貯湯タンクが満タンの時、ヒートポンプユニットが運転している。**
貯湯タンクユニット内の湯（約50℃）を沸上げ設定温度まで沸上げています。

**○ 排水口から湯が出ている。**
沸上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

**○ 沸上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる。**
冬期運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。

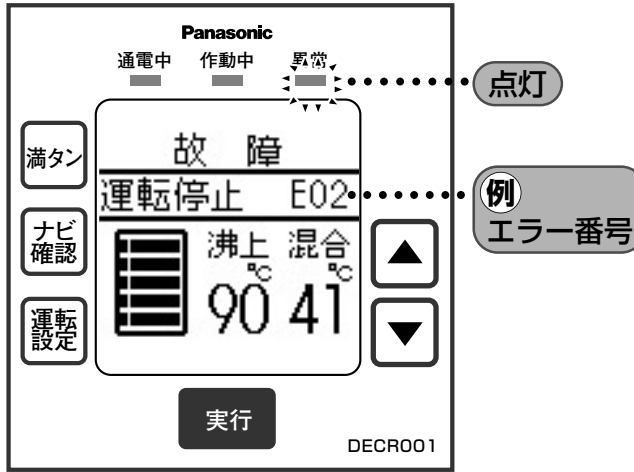
**○ リモコンの画面上段に「時計未設定」が点灯する。**
停電が原因です。時刻合わせをしてください。(→16ページ)

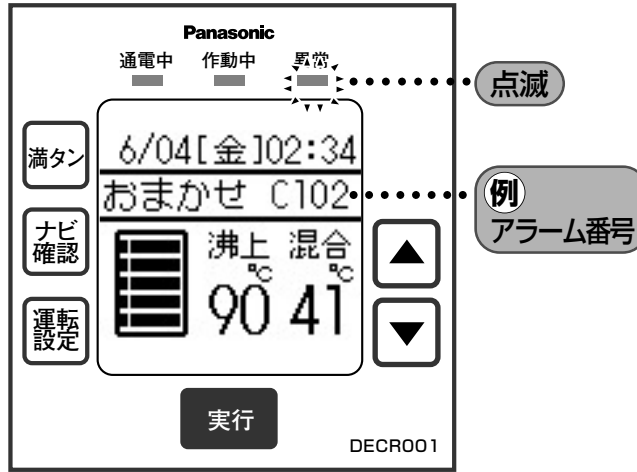
**○ 沸上げ運転中、ヒートポンプユニットの下部から水が出る。**
ヒートポンプが大気から熱を吸収するときに、結露した水がでてきます。

## エラー・アラーム表示（表示がある場合）

**○ 機器に異常が発生したとき、リモコンに次のように表示し、ピピッと鳴って異常をお知らせします。**

**エラーの場合**

ヒートポンプユニットは、全ての運転を停止しています。リモコン画面のエラー番号を取扱店（工事店）に連絡の上、修理をご依頼ください。

**アラームの場合**

ヒートポンプユニットは、運転しています。この時、出力低下している事があります。又、しばらくするとエラーで停止することがあります。取扱店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。

## 故障かなと思ったら（表示がない場合）

**○ 次の項目にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は取扱店（工事店）までご連絡ください。**

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| リモコンの"通電中"ランプが点灯しない（電源が入らない） | ・漏電ブレーカの電源レバーが「OFF」になっている | ブレーカを「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、そのまま取扱店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。 |
| | ・停電している | 停電が終わるまでまってください。 |
| リモコンの表示が消えている | ・表示が消灯モードになっている | どれかスイッチを押すと表示が点灯します。 |
| リモコンの表示が暗い | ・リモコンの表示明るさ設定が「暗い」になっている | リモコンの表示明るさ設定を「明るい」あるいは「ふつう」にしてください。（→20ページ） |
| リモコンの操作音が出ない | ・リモコン操作音の設定が「OFF」になっている | リモコン操作音設定を「ON」にしてください。（→19ページ） |
| 湯が出ない湯の出が悪い | ・給水止水栓が閉じている | 給水止水栓を開いてください。 |
| | ・断水している/給水圧が低い | 水道局へ問い合せてください。 |
| | ・貯湯タンクユニット内のストレーナーにゴミがつまっている | 取扱店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。 |
| | ・配管が凍結している | 取扱店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。 |
| | ・部品が故障している | リモコンのエラー・アラーム表示を確認してください。（→39ページ） |
| 湯がぬるい湯が足りない | ・リモコンに「再開○日後」が表示している | 実行ボタンを押し、「おまかせモード」あるいは、「マニュアル・モード」にしてください。（→18ページ） |
| | ・沸き上げ温度設定が低い | 運転設定の沸上げ温度設定で、温度を高めに設定してください。 |
| | ・沸き上げ運転時以外でも、排水口から湯（水）がでている | 逃し弁の点検をしてください。（→9ページ）止まらない場合は、取扱店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。 |
| | ・いつもに比べて湯をたくさん使用した | 満タンモードで使用ください。（→27ページ） |
| 貯湯量表示の減り方が早い | ・1日以上、湯を使用していない | 貯えられた湯の温度が低下し、早めに表示が減少することがあります。 |

# 仕様

[システム]

| 組合せ品番 | XDEC34P1K | XDEC34P2K | XDEC34P3K | XDEC34P4K |
|---|---|---|---|---|
| ヒートポンプ接続台数 | 1台 | 2台 | 3台 | 4台 |
| 適用電力制度 | 業務用電力契約、低圧電力契約 | | | |
| 定格電源 | 一般商用電源　単相　200V/50/60Hz共用 | | | |
| タンク設置適応 | 屋外型 | | | |
| 最大電流 | 15A | 30A | 45A | 60A |
| 使用温度範囲 | −10℃〜50℃ | | | |
| 沸上げ設定温度※1 | 約65〜90℃ | | | |
| 最大沸上げ能力（参考） | 50リットル/時間 | 100リットル/時間 | 150リットル/時間 | 200リットル/時間 |
| 給湯温度 | 沸上温度＆設定温度（35〜50/55/60/75℃）の2系統 | | | |
| 給水圧力 | 200KPa以上 | | | |
| 仕向地 | 次世代省エネ基準Ⅲ地域以南 | | | |

[貯湯タンクユニット]

| 品番 | DECB370K |
|---|---|
| タンク容量 | 370リットル |
| 最大使用圧力 | 190kPa |
| 外形寸法（mm） | 1,880（高）×653（幅）×757（奥行） |
| 質量（製品重量/満水時重量） | 約77kg／447kg |
| 凍結防止ヒータ | 96W |
| 制御用 | 18W |
| 貯湯機能 | おまかせモード、マニュアル・モード、満タンモード |

[ヒートポンプユニット]

| 品番 | DECP450K | | | |
|---|---|---|---|---|
| 外形寸法（mm） | 640(高)×900(幅)×300(奥行) | 640(高)×900(幅)×300(奥行)×2台 | 640(高)×900(幅)×300(奥行)×3台 | 640(高)×900(幅)×300(奥行)×4台 |
| 質量（重量） | 約59kg×1台 | 約59kg×2台 | 約59kg×3台 | 約59kg×4台 |
| 定格加熱能力 | 4.5kW | 9.0kW | 13.5kW | 18kW |
| 定格消費電力 | 1.11kW | 2.22kW | 3.33kW | 4.44kW |
| 定格加熱能力保証範囲※2 | −5℃〜43℃ | | | |
| 運転音 | 38dB | 40dB | 42dB | 44dB |
| 冷媒名 | $CO_2$ | | | |

[リモコン]

| 品番 | DECR001 |
|---|---|
| 外形寸法（mm） | 120（高）×116（幅）×48（奥行） |
| 質量（重量） | 220g |

※1　43℃〜50℃の雰囲気では、ヒートポンプユニット内部部品保護のため
沸上げ温度を下げて運転します。

※2　−10℃〜−5℃の雰囲気では、ヒートポンプユニット内部部品保護のため
加熱能力をセーブして運転します。



MEMO